

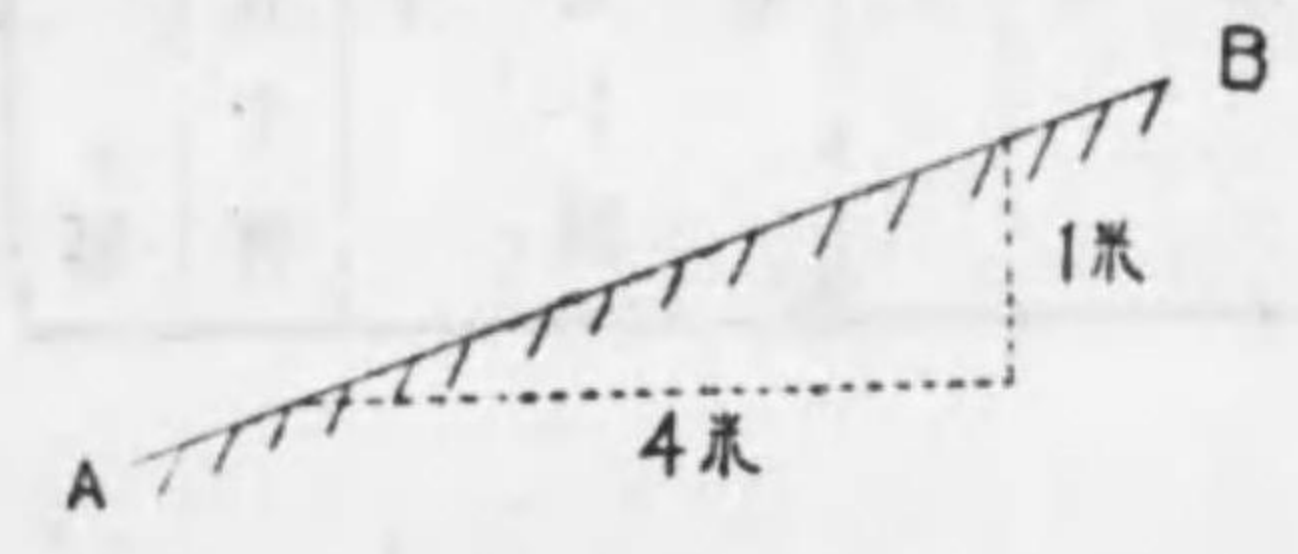
5、各兵種通過ノ爲ニ要スル急造軍路ノ路幅傾斜、曲半徑  
各兵種通過ノ爲ノ、路幅ノ最下限左表ノ如シ。

自動車	輜重		野戰重砲	山砲		野砲	騎砲	步兵	兵種	路幅
	馬	車		駄載	繫駕					
一臺一方向ニ前進スル時	一馬	二車	三	一	一米五十	同	二	四列側面縱隊 二伍縱隊	隊號其他	二米五十
	一米	二米	三米	一米	一米五十	右	二米五十			四米

搜索警戒

各兵種通過ノ爲傾斜ノ最大限度左表ノ如シ。

自動車	輜重		野戰重砲	山砲		野(騎)砲	兵種
	馬	輛		載	駕		
1/6	1/4	1/6	1/20	1/4	1/6	1/8	傾斜
	1/2	1/4	1/8	1/2	1/4	1/4	短小ナル直線部ノ傾斜



AB道、傾斜ハ $\frac{1}{4}$ トス

曲半徑ノ最下限左表ノ如シ。

兵種	路幅	曲半徑	
		平地	坂路
野(騎)砲	二米五十種	八米	二十米
繫駕山砲	一米五十種		六米
野戰重砲	三米	十米	二十五米
輜重車輛	二米		六
自動車	四米	七米	



RヲA、B、C、D、E道ノ曲半徑ト云フ

二、河川偵察

河川ノ偵察ハ河川ノ状態、渡河點ノ有無及渡河ノ難易等ヲ實査スルニ在リ。

1、任務ノ了解  
偵察者ハ任務受領ニ際シ、左記事項ヲ知得スルヲ要ス

搜索警戒

(イ) 偵察ノ目的 (軍隊ノ渡河、河川ノ攻撃防禦等)

(ロ) 渡河部隊ノ兵力編組

(ハ) 要スレバ該方面ニ於ケル彼我ノ情況及特ニ著意スベキ地點

2、偵察計畫

出發前ニ地圖ニ依リ取ルベキ進路、着意スベキ要點等ニ就キ研究ス、而シテ重要ナル要點ハ斥候長自ラ實査スル如ク計畫ス。

所要ノ偵察用器具 (水深、河幅ヲ計ル器具、其他) ヲ携行ス  
其他ハ道路偵察ニ準ス

3、偵察動作

偵察動作ハ道路偵察ニ準ズルモ水上ノ偵察ハ陸上ノ偵察ニ比シ困難ナルヲ以テ偵察者ハ細心ニ且ツ大膽ニ行動セザルベカラズ。

徒渉場ノ偵察一般ノ要領ヲ述ブレバ左ノ如シ

豫メ地圖ニ依リ研究ス (河川ニハ所々水深ノ註記アリ)

土民ニ質シ又ハ土民徒渉ノ狀況ニ依リ判斷ス

河川ノ状態ニ依リ判斷ス (第五十九圖参照)



兩岸ノ轍痕、人馬ノ足跡等ニ依リ推定ス

必ズ偵察者自ラ徒渉シ或ハ舟筏ニ依リ實査スルヲ要ス

徒渉場ハ其位置ヲ標示シ以テ部隊ノ利用ヲ容易ナラシムルノ注意ヲ必要トス

4、報告

要領ハ道路偵察ニ準ズ

報告事項ハ偵察目的ニ依リ差異アルモ概ネ左記事項中必要事項ヲ述ブベシ

(イ) 河川ノ状態

搜索警戒

河幅、水深、河底ノ性質、流速、天候氣節及潮汐ノ交感、渡河點ノ有無其種類、兩岸ノ狀態

(ロ) 渡河點ノ狀態

橋梁ノ種類、橋路幅、強度、長

渡河材料、舟子ノ數、船着場ノ狀態、進入路、兩岸ニ於ケル集合場、渡

船時間(少ナクモ往復ノ時間)

徒涉場ノ幅、水深、設備ノ要否、進入進出ノ難易、兩岸ニ於ケル集合場

(ハ) 附近ノ地形

兩岸附近ニ於テ陣地ト爲シ得ベキ高地ノ有無並其狀態、渡河點ヲ最モヨ

ク火制シ得ル地點等ニ就テ必要ナル事項

5、諸兵種ノ通過ヲ許ス水深左表ノ如シ(流速一米、河底堅硬ナルトキ)

兵種	水深
徒歩兵	八十糎

騎兵	一米
野(騎)砲	五十糎(彈藥ノ濕潤ヲ顧慮セザルトキハ約八十糎)
山砲	繫駕四十糎、駄載八十糎
野戰重砲	五十糎
輜重駄馬	八十糎
輜重車	五十糎(三六式、三八式輜重車ハ約四十糎)

第二節 尖兵

其一要則

一、行軍間ノ警戒及警戒隊ノ任務

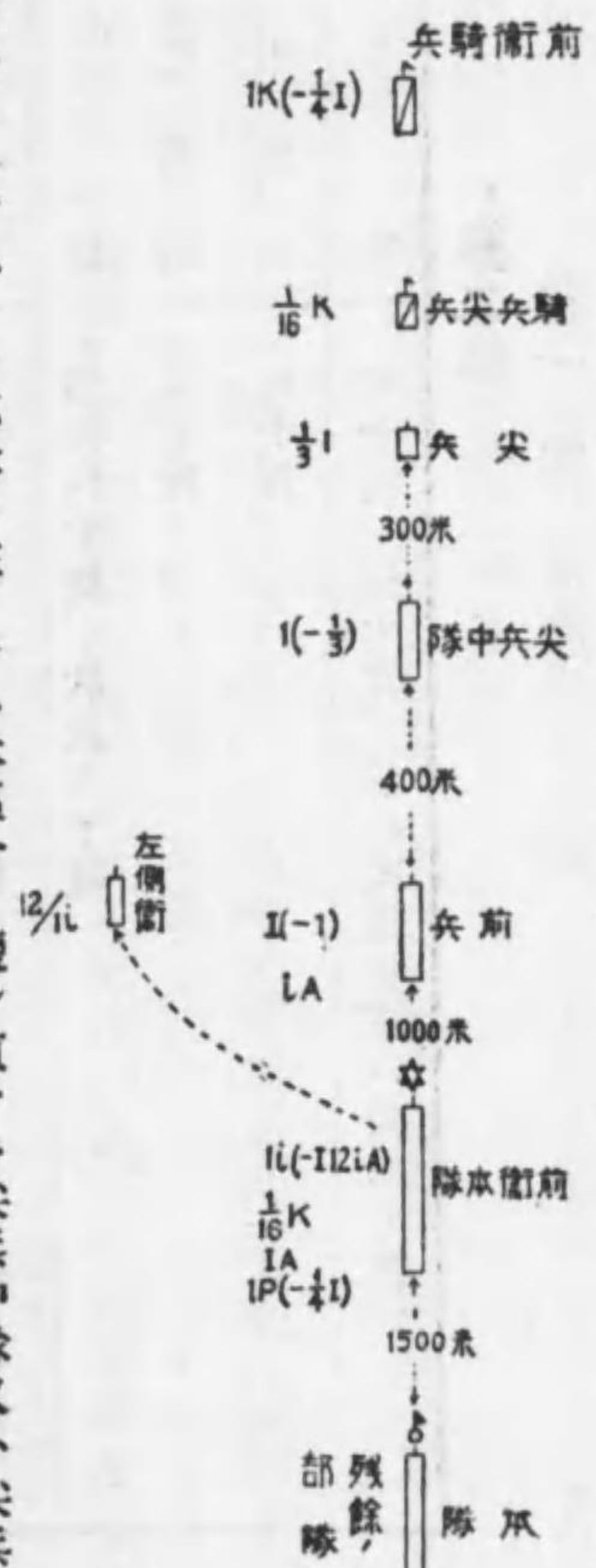
行軍間ニ於ケル警戒ハ前衛、側衛又ハ後衛ヲ以テス而シテ其任務ハ敵ニ對シ本隊ニ行動ノ自由ヲ得シメ又其行進ヲシテ澁滯ナカラシムルニ在リ。

二、行軍間駐止時ノ警戒

行軍間ニ於ケル警戒隊ハ別命ナシト雖行軍間ノ駐止竝行軍ヲ終レル後ニ於テ  
尙本隊ノ爲警戒ヲ爲スノ責任ヲ有ス。

三、前衛行軍部署ノ一例(第五十一圖参照)

第五十一圖



備考 一、小ナル部隊ニ在リテハ本區分ヲ廢シ直チニ尖兵中隊又ハ尖兵ヲ出スコトアリ

二、側衛ハ前兵又ハ本隊ヨリ出スコトアリ

其二 尖兵長ノ勤務

一、任務及行動ノ準據

尖兵ハ行進路上ヲ搜索シ敵ニ接近スルニ至レバ所要ニ應シ行進路ノ近傍ニ斥候ヲ派遣シ又村落、森林等ノ蔭蔽地ニ在リテハ特ニ意ヲ用ヒテ搜索シ以テ後方部隊ヲ警戒スルノミナラズ尖兵長ハ前方ニ發生スル事故ヲ速カニ判別シテ之ヲ後方ノ指揮官ニ報告スルト共ニ適當ノ處置ヲナシ全隊戰勝ノ基ヲ開拓スルモノニシテ其行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス。

- 1、主トシテ行進路上ノ搜索ニ任ズ、之ガ爲敵ノ斥候、小部隊ノ如キハ之ヲ擊破シテ前進ス。
- 2、敵ト近接スルニ至レバ其行動、兵力若ハ陣地等ヲ偵察シ且尖兵中隊ノ展開ヲ掩護ス。
- 3、敵ヲ追撃スルニ方リテハ速カニ之ニ追及シ其主力ヲシテ抗戰スルノ已ムヲ得ザルニ至ラシム。
- 4、行進方向ヲ維持シ又ハ進路ヲ誤ラザルコト。

- (イ) 經過スベキ地方ノ地形ヲ事前ニ研究シ其要點ヲ記憶シ行進中常ニ地圖ヲ見詰ムルガ如キコトナキコト。
- (ロ) 地圖ト現地トノ異同ニ着眼シ其大體觀察ヲ誤ラザルコト之ガ爲ニハ地圖ノ價値ヲ顧慮スルヲ要ス。
- (ハ) 土民ヲ雇傭シテ道案内ノ補助ヲナサシム此際逃亡セシメザル如ク嚴ニ之ヲ監視スルト共ニ全然之ニ信賴スルトキハ却テ進路ヲ誤リ不覺ヲ取ルコトアルヲ以テ自ラ地圖ト現地トヲ對照シテ位置ヲ確認シツツ前進スルヲ要ス。

### 二、尖兵ノ兵力

尖兵ハ其行動輕捷ナルヲ要スルヲ以テ、其兵力大ナラザルヲ可トスト雖、小ナル障礙ハ之ヲ驅逐排除シテ積極的ニ活動センガ爲ニハ相當ノ推進力ヲ有セザルベカラズ、依テ尖兵ノ兵力ハ狀況及地形ニ依リ一分隊以上トシ要スレバ之ニ輕機關銃ヲ加フ。

尖兵ノ長ハ前記ノ如ク重要ナル任務ヲ有スルヲ以テ將校ヲ以テ之ニ充ツ

### 其三 尖兵長ノ動作

#### 一、任務受領後ヨリ出發マデノ處置

##### 1、時間ニ餘裕アル場合

此ノ場合ニ在リテハ將校斥候ニ就キ述べタルトコロヲ參酌シ、機宜ニ適スル出發準備ヲ整フベキモノニシテ一定ノ法則ナシト雖其要領ヲ例示セバ左ノ如シ。

- (イ) 任務ヲ受クルヤ之ヲ復唱シテ進路、到達點及側衛アル場合其進路等ヲ圖上ニ明記シ置クヲ可トス。
- 尙ホ我軍ノ目的及敵ト衝突シタル場合ニ於ケル前衛ノ企圖ヲ了解シアルヲ要ス。
- 軍ノ目的及任務ニ基キ敵情、地形ヲ判斷シテ行動ノ憑據ヲ定ム。
- 地圖ニヨリ地形一般ノ情態殊ニ我行進路附近ノ地形ノ概要ヲ暗識ス。
- 行進計畫ヲ立案ス。
- 連絡兵ノ數及距離並連絡長設置ノ要否ヲ定ム。

搜索警戒

豫想スル敵トノ遭遇(觸接)點附近ノ地形判斷ト前衛司令官ノ企圖ニ基キ尖兵ノ行動ヲ腹案ス。

搜索ノ順序方法ヲ腹案ス。

a、特ニ搜索ヲ周密ニスベキ時機又ハ搜索上特ニ留意スベキ地點ヲ判斷シ、之ニ對スル尖兵ノ行動ヲ研究ス。

b、敵情視察ノ爲尖兵長ノ躍進スベキ目標ヲ選定ス。

豫メ大休止ノ時刻、場所等判明セバ尖兵ノ取ルベキ警戒法ヲ腹案ス。

(ホ) 出發準備ヲ整フ

裝填シ要スレバ着剣ス

記號ヲ約束ス

双眼鏡ノ視闊度ヲ規正シ要スレバ之ヲ「サツク」ヨリ取り出シテ懸ク

(ヘ) 部下ニ命令ヲ下達ス其一例左ノ如シ(特ニ第一、第二項ヲ徹底セシム)

命令

一、敵ハ云々

支隊ハ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ○○ニ向ヒ前進ス(中隊長ノ命令ニ依リ明カナルトキハ略ス)

二、小隊ハ尖兵トナリ○村、○村ヲ經テ○○ニ向ヒ前進セントス

尖兵中隊トノ距離三百米

三、某伍長ハ其分隊ヨリ一二等兵二名ヲ率ヒ、某上等兵ハ第○分隊ノ一二等兵二名ヲ率ヒ斥候トナリ予ニ隨行スベシ

四、某某ハ傳令。

五、第四分隊長ハ尖兵中隊トノ間ニ二名ヅツノ連絡兵二組ヲ配置スベシ

六、某軍曹ハ尖兵主力ヲ引率スベシ。

上等兵又ハ一二等兵ヲ長トスル三名ノ斥候二組ヲ準備シ置クベシ。

七、予ハ尖兵主力ノ前方ヲ行進ス。

2、時間ニ餘裕ナキ場合(行軍中突然尖兵タルコトヲ命ゼラレタル場合等)斯ノ如キ場合ニ於テハ前項ノ如ク詳細ニ考案部署スルノ餘裕ナキヲ以テ、拙速主義ニ依リ狀況ニ適應スル如ク重要ト認ムル事項ヨリ逐次部署シ大綱

搜索警戒

ヲ逸セザルヲ緊要トス、左ニ一例ヲ以テ其要領ヲ述ベシ。  
先ヅ行進シツツ尖兵ノ進路、行進目標等ヲ示シ断歩ヲ以テ距離ヲ取リツツ  
連絡兵ヲ配置セシメ搜索ノ順序、方法ヲ考案ス。

距離ヲ取リ終ラバ  
所要ニ應ジ敵情及我軍ノ目的等ヲ示ス  
斥候ニ任務ヲ課シテ派遣ス

尖兵主力ノ引率者ヲ命ジ尖兵長ハ所要ノ斥候及傳令ヲ從ヘ先行ス

### 二、尖兵ノ行進部署

#### 1、尖兵長ノ行進位置及隨行者

(イ) 尖兵長ハナルベク早く前方ノ敵情地形ヲ視察シテ、之ニ應ズル處置ヲ  
機ヲ失セズ講ジ得ル如ク尖兵主力ノ前方ニ在リテ所要ノ傳令及斥候ヲ從  
ヘ先行ス、而シテ其距離ハ不意ニ敵ト衝突シタル場合ニ於テモ、尖兵主  
力ヲ意圖ノ如ク部署シ得ルノ關係ヲ保有シアルヲ要ス。

其一例ヲ圖示スレバ第五十二圖ノ如シ。



此距離ハ號令ヲ以テ尖兵群ヲ指揮シ得ル範圍内ナルヲ可トス

(ロ) 未ダ敵ニ遠ク、而モ地形平坦開豁ニシテ搜索警戒上殆ド特別ナル顧慮  
ヲ要セザルトキハ所要ノ傳令ノミヲ從ヘ尖兵主力ノ直前ヲ行進スルヲ以  
テ足レリトス。

#### 2、躍進

行進路上又ハ其近傍ニ展望良好ナル高地等アルトキハ敵情、地形ノ視察ノ  
爲之ニ向ツテ躍進スルコトアリ(第五十三圖參照)



圖三十五第



此際尖兵主力ヲ同行スルヤ否ヤハ狀況ニ依ルモ敵ト遭遇スル願慮アルトキハ同行スルヲ可トス

3、尖兵主力ノ引率

尖兵長尖兵主力ヨリ離隔シテ行進スルトキ尖兵主力ノ引率ハ通常先任分隊長ヲシテ之ヲ爲サシム、之レ尖兵長ハ絶ヘズ敵方ヲ觀察シ適時適切ナル處置ヲ講スルヲ要スルヲ以テナリ、而シテ尖兵長ハ號令又ハ記號ヲ以テ自己ノ意圖ヲ引率者ニ示達スルモノトス。

4、尖兵ト尖兵中隊トノ距離

尖兵主力ヲ引率スル分隊長ハ常ニ敵情地形ヲ考察シ尖兵長ノ意圖ニ合スル如ク之ヲ引率スルト共ニ常ニ積極的ニ尖兵長ヲ輔佐スルノ著意ヲ必要トス

隊長ヨリ示サルモノトス

5、連絡

(イ) 尖兵中隊トノ連絡

尖兵ハ常ニ尖兵中隊ノ進退ニ從ヒ其行動ヲ律シ連絡ハ尖兵ヨリ尖兵中隊ニ向ヒナスモノトス。

連絡保持ノ爲ニハ尖兵中隊ヨリ先行スベキ距離ノ長短及連絡ノ難易ヲ願慮シ若干組ノ連絡兵ヲ配置ス。

連絡兵ノ監督指導ノ爲尖兵主力ノ後尾分隊長ヲシテ兼ネシムベキヤ、或ハ特ニ連絡長ヲ任命スベキヤハ主トシテ連絡ノ難易ニ依ルモノトス

連絡兵ハ通常二名ヲ一組トシ、其距離ハ連絡ノ難易ニ依リ五十米乃至百米トシ、所要ノ標識ヲ附セシムルヲ可トス。

連絡兵ハ前進、停止、駈歩、速歩等一ニ尖兵中隊ノ行動ニ據ルモノトス之ガ爲距離延伸スルトキハ逐次尖兵主力ヨリ連絡兵ヲ増加シ、又距離短縮スルトキハ尖兵ニ近キ連絡兵ヨリ逐次尖兵主力ニ合スルモノトス。

連絡兵ヲ介シテ傳達セシムルハ簡單ナルコトニ限り之ガ亂用ヲ避クルヲ要ス、之レ誤傳ヲ生ジ易キノミナラズ却テ時間ヲ要シ、又行軍ノ靜肅ヲ害スルヲ以テナリ。

連絡ノ要領ヲ圖示スレバ第五十四圖ノ如シ。

圖四十五第



(ロ) 騎兵尖兵トノ連絡及協同

騎兵尖兵進路上ニ在ルトキ、之トノ連絡ハ通常騎兵尖兵ニ於テ保持ニ勉ムベシト雖モ尖兵長トシテモ、亦次ノ諸項ニ注意スルヲ必要トス。

進路上ニ斥候ヲ派遣スルトキハナルヘク騎兵尖兵ト連絡シ其動靜ニ注意セシム。

- 所要ニ應ジ尖兵ノ一部又ハ主力ヲ以テ騎兵尖兵ニ協力ス、例ヘバ
- a、騎兵尖兵ノ前進ヲ阻止スル敵ヲ驅逐シテ之ヲ推進ス
  - b、騎兵尖兵ト協力シテ要點ヲ奪取シ又ハ確保ス
  - c、騎兵尖兵ノ轉進ヲ掩護ス
- 報告ノ爲後方ニ歸ル傳騎ヨリ敵情ヲ承知ス

(ハ) 側衛トノ連絡

尖兵ガ直接側衛ト連絡ヲ保持スルハ特ニ命セラレタルカ、又ハ特ニ重大ナル情況ヲ側衛ノ方面ニ認メタルトキ等ノ場合ニ限り、其他ハ通常尖兵長ノ目視、又ハ側方派遣ノ斥候ヲシテ搜索ノ傍ラ側衛ノ行動及其方面ノ狀況ヲ察知セシムル如ク勉ムルトス

三 尖兵ノ搜索部署

1、要領

尖兵長ハ自ラ尖兵主力ノ前方ニ位置シ進路附近ヲ搜索スルト共ニ巧ニ斥候ヲ使用シテ之ヲ補足スルモノトス。

敵ニ遠キ間ハ主トシテ進路附近ヲ搜索シ、漸次敵ニ近接スルニ隨ヒ、逐次其側方地區ニ及ボス如ク爲スヘキモノトス、然レドモ如何ナル場合ニ於テモ搜索上ノ重點ハ行進路ノ方面ニ在ルコトヲ忘ルベカラズ。

尖兵長ハ豫メ定メタル搜索計畫ニ基キ搜索ヲ實施シツツ前進ス。

2、搜索手段

尖兵長自ラ行フ視察

尖兵長ハ尖兵主力ノ前方ニ位置シ絶ヘズ狀況ヲ視察シツツ行進スルト共ニ隨時隨所ニ適當ナル展望地點ヲ求メテ之ニ先行シ、尖兵主力到着迄ノ時間ノ餘裕ヲ利用シテ更ニ詳細ナル觀察ヲ行フ。

斥候ニ依ル搜索

(イ) 進路上ノ警戒及搜索

進路上ノ警戒及搜索ハ尖兵ノ主要ナル任務ナルヲ以テ、尖兵長自ラ之ニ當ルベシト雖モ狀況特ニ尖兵ノ目的、地形及騎兵尖兵ノ有無等ニ依リ、時ニ應ジ尖兵長ノ前方ニ斥候ヲ派遣スルヲ要スルコトアリ、例ヘバ左ノ如シ。

a、尖兵主力ヲ直接警戒セントスルトキ。

b、進路上ニ在ル村落、森林、高地、隘路等ノ前岸ニ敵ノ有無ヲ搜索シ其結果ニ依リ尖兵ノ行動ヲ決セントスルトキ。

c、機ニ先チ進路上ノ水田、河川、細流等障碍程度ヲ偵知セントスルトキ

(ロ) 進路側方ノ搜索

進路ノ側方如何ナル程度迄搜索ヲ行フベキヤハ敵ノ遠近、地形上搜索ノ難易、尖兵ノ兵力、側方地區搜索ノ爲友軍ノ騎兵又ハ側衛等ノ有無等ヲ顧慮シ尖兵長ニ於テ決定スベキモノトス。

(ハ) 斥候派遣ニ方リ注意スベキ事項左ノ如シ。

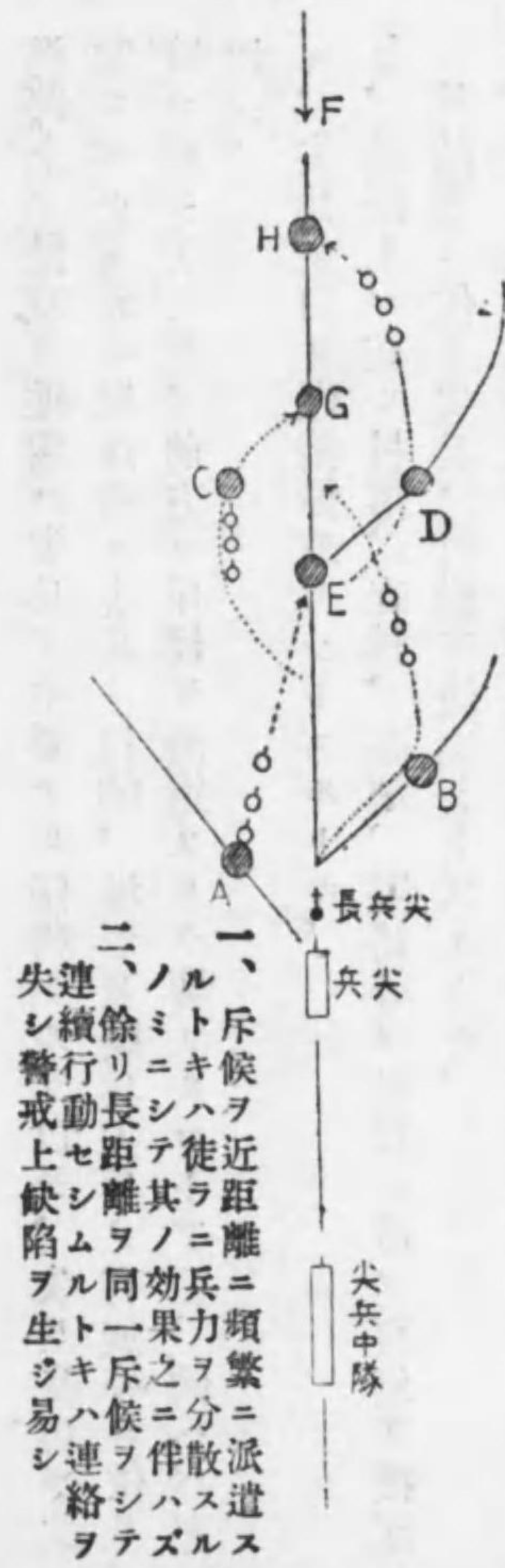
a、任務ハ斥候長ノ能力ト斥候ノ兵力トニ適應スル如ク、單一且的確ナ

搜索警戒

—(一八二)—

- ルヲ要ス。
  - b、任務ハ現地ニ就キ的確ニ指示スルハ勿論、勉メテ派遣ニ先チ之ヲ示シ置クヲ要ス。
  - c、派遣スル斥候ノ數及兵力ハ勉メテ節約スルト共ニ、適時且確實ニ尖兵主力ニ復歸シ得ル如クス。
- 3、敵ニ近キ場合ニ於ケル尖兵搜索部署ノ一例(第五十五圖參照)

圖五十五第



4、敵ニ近キ場合ニ於ケル尖兵ノ各種地形搜索法

(イ) 平坦開豁地

通視容易ニシテ搜索ニ便ナルヲ以テ側方ニ斥候ヲ派遣スル必要少ナシ、而シテ尖兵主力ハ所要ニ應ジ疎開シテ前進ス。

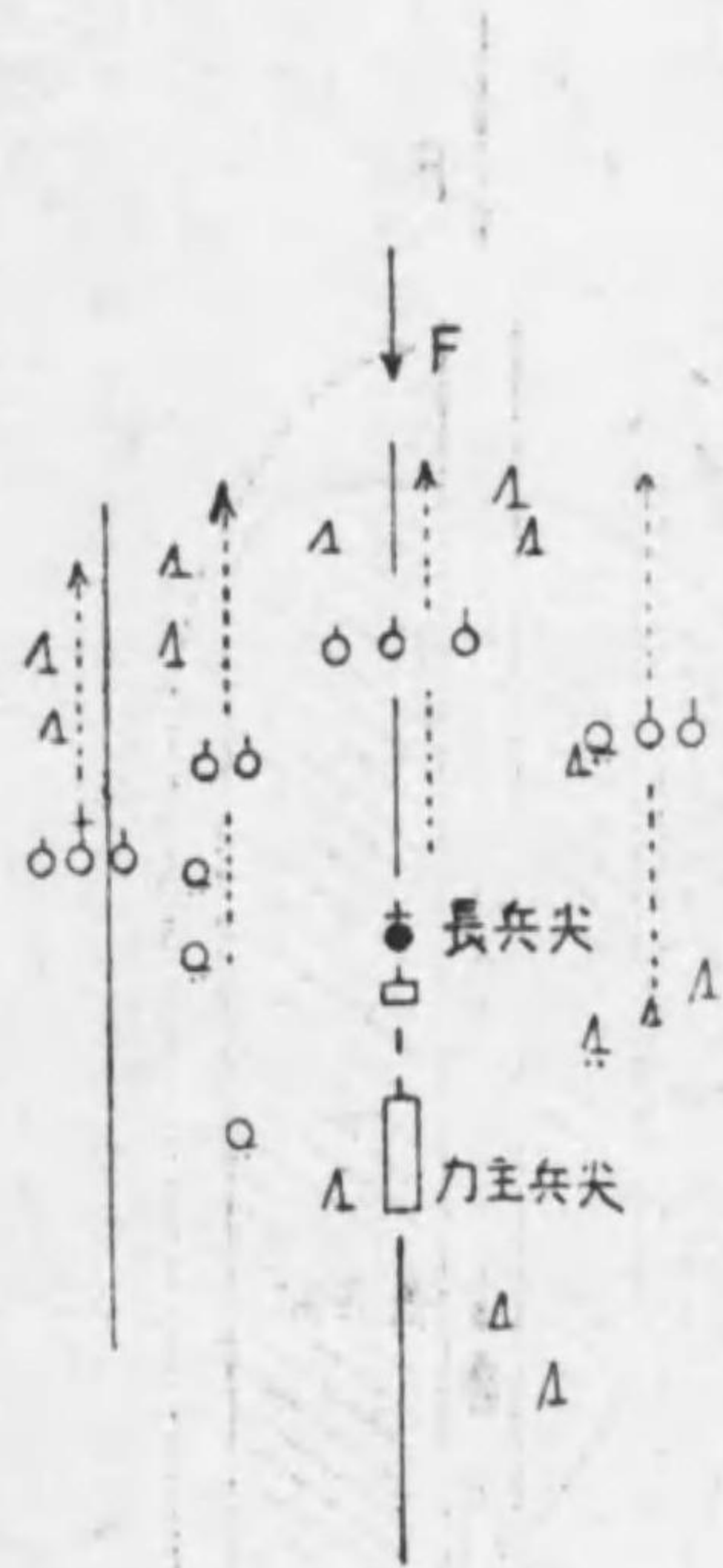
(ロ) 蔭蔽地(第五十六、第五十七圖參照)

通視困難ニシテ搜索不便ナルヲ以テ側方ニ派遣スル斥候ノ數ヲ増加シ常ニ接戰ヲ準備シ近ク尖兵主力ヲ行進セシム。

林 森 圖六十五第

搜索警戒

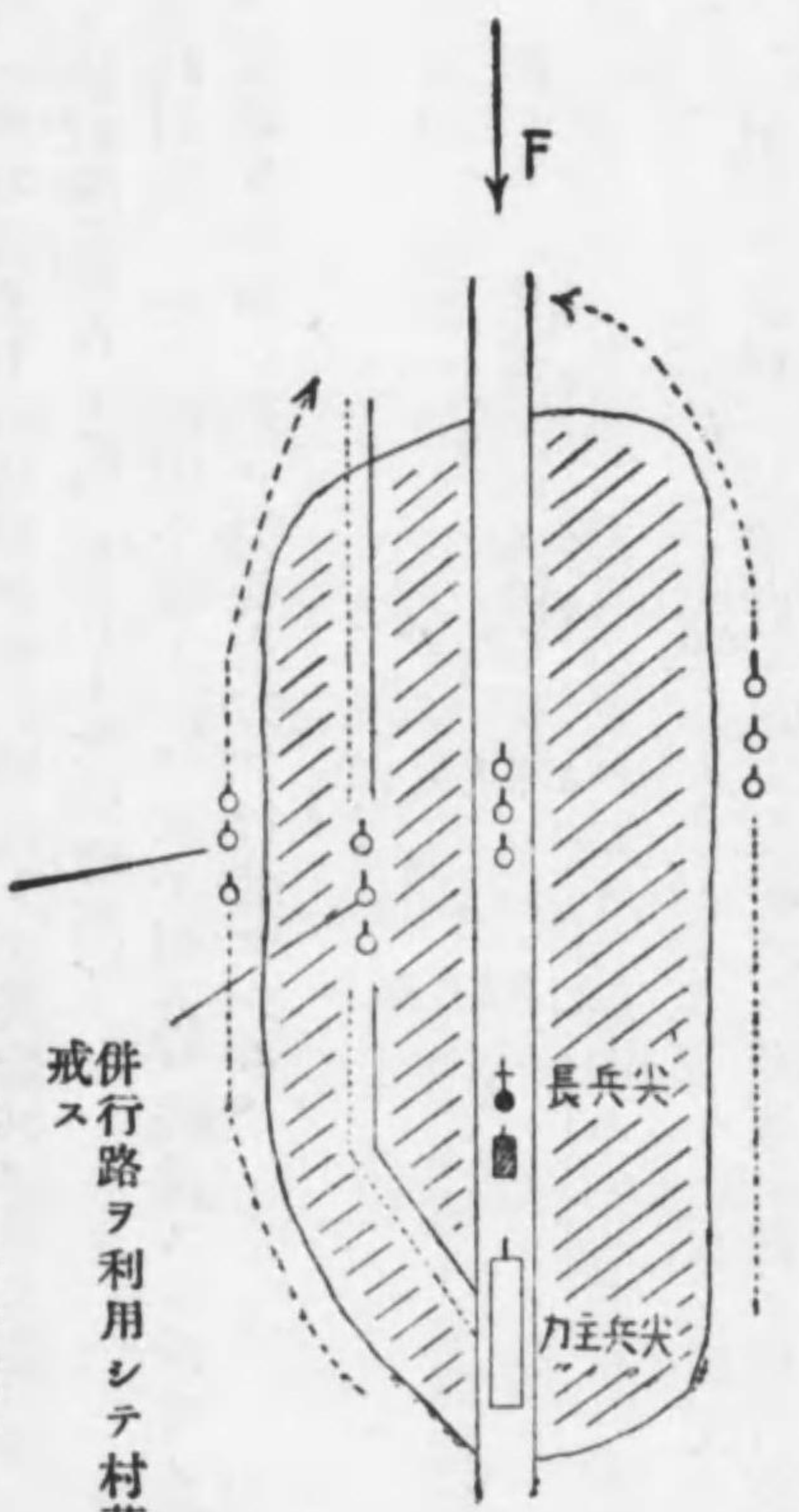
—(一八三)—



搜索警戒

—(一八四)—

落 村 圖七十五第

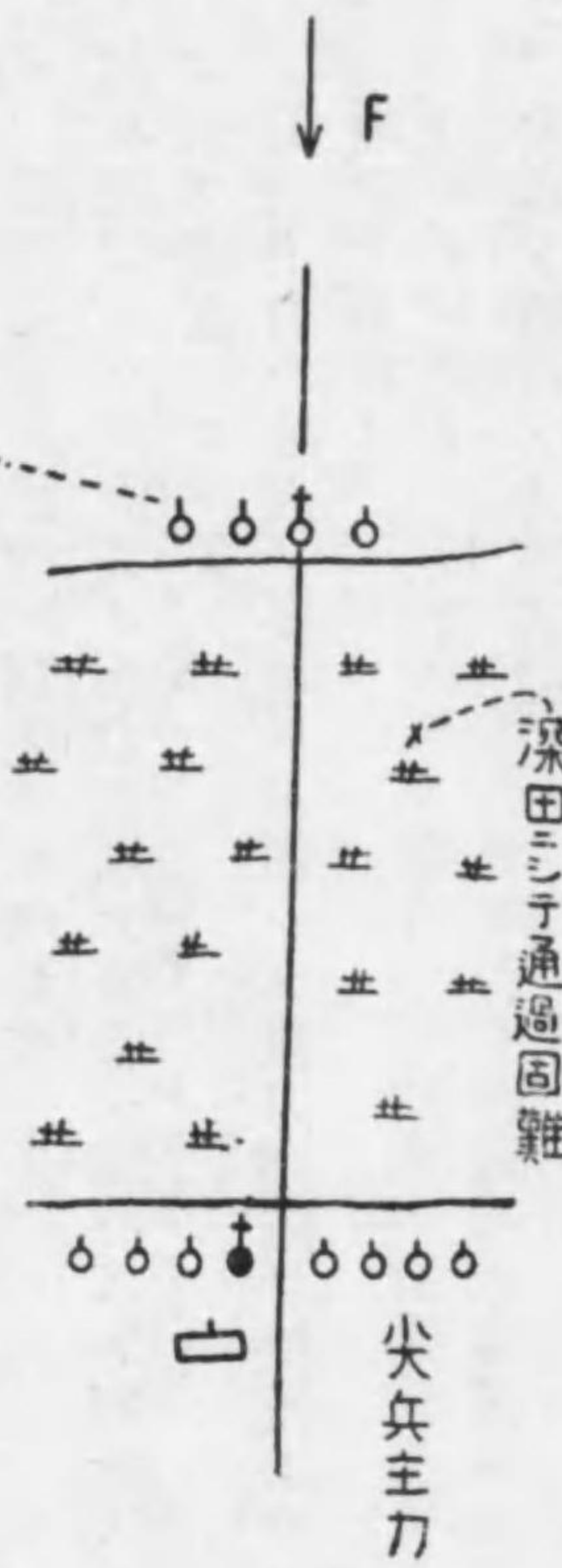


併行路ヲ利用シテ村落内ヲ搜索警戒ス  
村落外側ヲ搜索警戒ス

(ハ) 隘路(第五十八圖参照)  
隘路ハ其長短及兩側通過ノ難易ニ依リ、通過法ニ差異アルモ常ニ尖兵ノ

全部同時ニ敵ノ射撃ヲ蒙ラザル如ク願慮スルコト必要ナリ。

圖 八 十 五 第



一、前岸ニ先行スル斥候ノ通過中一部ノモノヲシテ射撃準備ヲナサシム。  
二、斥候前岸ニ到着スルヤ直チニ急進ス。

四 敵・遭遇シタル場合ノ行動

1、要領

尖兵長ハ敵ニ近接スルニ至レバ搜索ヲ周密ニシ、敵ノ斥候、小部隊ノ如キハ之ヲ遲滞ナク撃攘シテ前進シ後方部隊ヲシテ無益ニ停止セシムルコトナキヲ要ス

搜索警戒

—(一八五)—

敵ト遭遇（觸接）ヲ豫期スル地點附近ニ展望良好ナル高地アルトキハ、速カニ之ヲ利用シテ左記事項中緊要ト認ムルモノニ就キ、搜索シ機ヲ逸セズ報告セザルベカラズ。

(イ) 敵ノ兵力區分、位置及行動

(ロ) 敵歩兵ノ到着地點、後續部隊ノ有無及狀態

(ハ) 敵ノ配備及陣地ノ狀態

(ニ) 戰鬪指導及實行ニ關係アル地形等

敵兵優勢ニシテ尖兵ノ兵力ヲ以テ驅逐シ能ハズト判斷スルトキハ、概ネ左ノ如ク處置スルヲ要ス。

尖兵主力ハ敵前ノ要地ヲ占領シテ後方部隊ヲ掩護シツツ斥候ヲ以テ敵情地形ヲ偵察ス。

速カニ中隊長ニ報告ス。

2、尖兵ト騎兵トノ連絡協同

前方ニ在リテ敵情搜索中ノ騎兵ヨリ前衛司令官、又ハ高級指揮官ニ報告ヲ

傳送セントスル傳騎ヨリ勉メテ敵情、地形ヲ承知ス、但シ此際該傳騎ヲ停止セシムルコトハ避ケザルベカラズ。

地形錯雜シテ高地、河川等多キ地方ヲ行進スル我騎兵ハ、屢々敵ノ爲ニ阻止セララルヲ以テ、斯ノ如キ場合ニハ尖兵ハ獨斷急進シテ敵ヲ驅逐シ、我騎兵ヲ推進スルヲ要ス。

我騎兵戰場附近ノ要點ヲ占領シテ後續歩兵ノ來着ヲ待チツツアルトキハ、尖兵ハ直チニ此戰鬪ニ加入シテ協力スルヲ要ス、此ノ迅速ナル戰鬪加入ハ全隊戰勝ノ基トナルコトアリ。

3、遭遇戰ニ於ケル尖兵ノ行動

遭遇戰ニ於ケル尖兵ノ行動ハ將來本隊ノ行動ニ影響スルコト大ナルヲ以テ能ク上級指揮官ノ意圖ヲ満足セシムル如ク、大局ニ著眼シテ敵情、地形ヲ判斷シテ其行動ヲ律スルコト必要ナリ

其ノ行動ノ憑據タルベキモノヲ舉グレバ左ノ如シ

戰鬪ノ支撐タルベキ要地ハ縱ヒ戰鬪ヲ惹起シ、又ハ正面過廣トナルモ意

トスルコトナク、速ニ攻撃シテ之ヲ占領スルコトニ躊躇スベカラズ。不意ニ敵ニ遭遇シタルトキハ、斷乎タル決心ヲ以テ攻撃シ機先ヲ制スルヲ要ス。

敵ノ不利ニ乗ジ得ルトキハ機ヲ逸セズ、猛烈果敢ニ攻撃シ、以テ我軍ヲシテ有利ナル態勢ヲ獲得セシムルノ第一歩ヲ作ルコト。

以上ノ如キ各種ノ場合ニ於テハ、戦闘ノ性質上殆ンド全力ヲ使用スルヲ通常トス(追撃ノ場合亦同ジ)

敵兵我ニ先ンジテ展開ヲ完了シアルトキハ、輕舉ヲ戒メ陣地攻撃ニ準ジテ行動スルヲ要ス。

#### 4、陣地攻撃ニ於ケル尖兵ノ行動

敵ガ陣地ヲ占領シアル場合ニ於テハ、過度ニ敵陣地ニ近接シテ戦闘ヲ惹起シ、後方部隊ヲシテ已ムヲ得ズ、不統一ノ戦闘ヲ交ヘシムルコトナキ如ク尖兵ノ行動ハ慎重ナルヲ要ス、然レドモ敵ノ警戒幕ハ速カニ之ヲ突破シテ搜索ノ要點ヲ占領シ敵情地形ヲ偵察セザルベカラズ。

自ラ狀況ヲ視察スル外、有力ナル斥候ヲ側背ニ迂回セシメ、尙展望哨ヲ配置スル等敵情ノ搜索監視ヲ中絶セザル如ク勉ム。

#### 5、追撃ニ於ケル尖兵ノ行動

追撃ノ主眼ハ速カニ敵ヲ捕捉シテ之ヲ殲滅スルニ在リ、故ニ敵ノ一部ノ抵抗ノ如キハ速カニ驅逐シテ接踵急追シ、敵ヲシテ交通路ヲ阻絶シ、又ハ破壊スルノ餘裕ナカラシムル如ク、勇敢ニ行動スルヲ要ス。

蔭蔽地ニ於テハ特ニ敵ノ伏兵又ハ反撃ニ注意シ不意ニ側背ヨリ急襲セラレザル如ク其方面ニ斥候ヲ派遣シテ警戒スルヲ要ス。

#### 五、行軍間ノ休止時ニ於ケル尖兵ノ行動

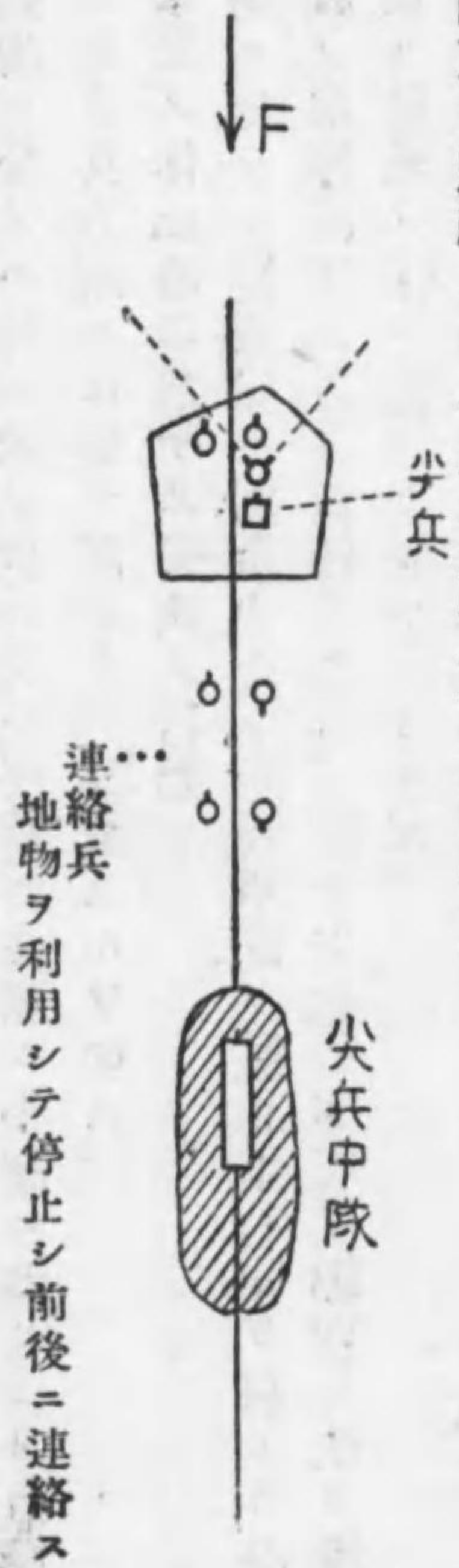
行軍間ニ於ケル警戒隊ハ別命ナシト雖行軍間ノ駐止並行軍ヲ終レル後ニ於テ尙本隊ノ爲警戒ヲナスノ責任ヲ有ス、隨テ尖兵モ亦右ノ趣旨ニ依リ機宜ノ處置ヲ取り警戒ノ任ヲ完フセザルベカラズ。

##### 1、行軍間大休止ノ警戒

此場合ニ於ケル警戒ノ要領ハ敵ノ遠近地形及休止ノ時間ニ依リ差異アリ。

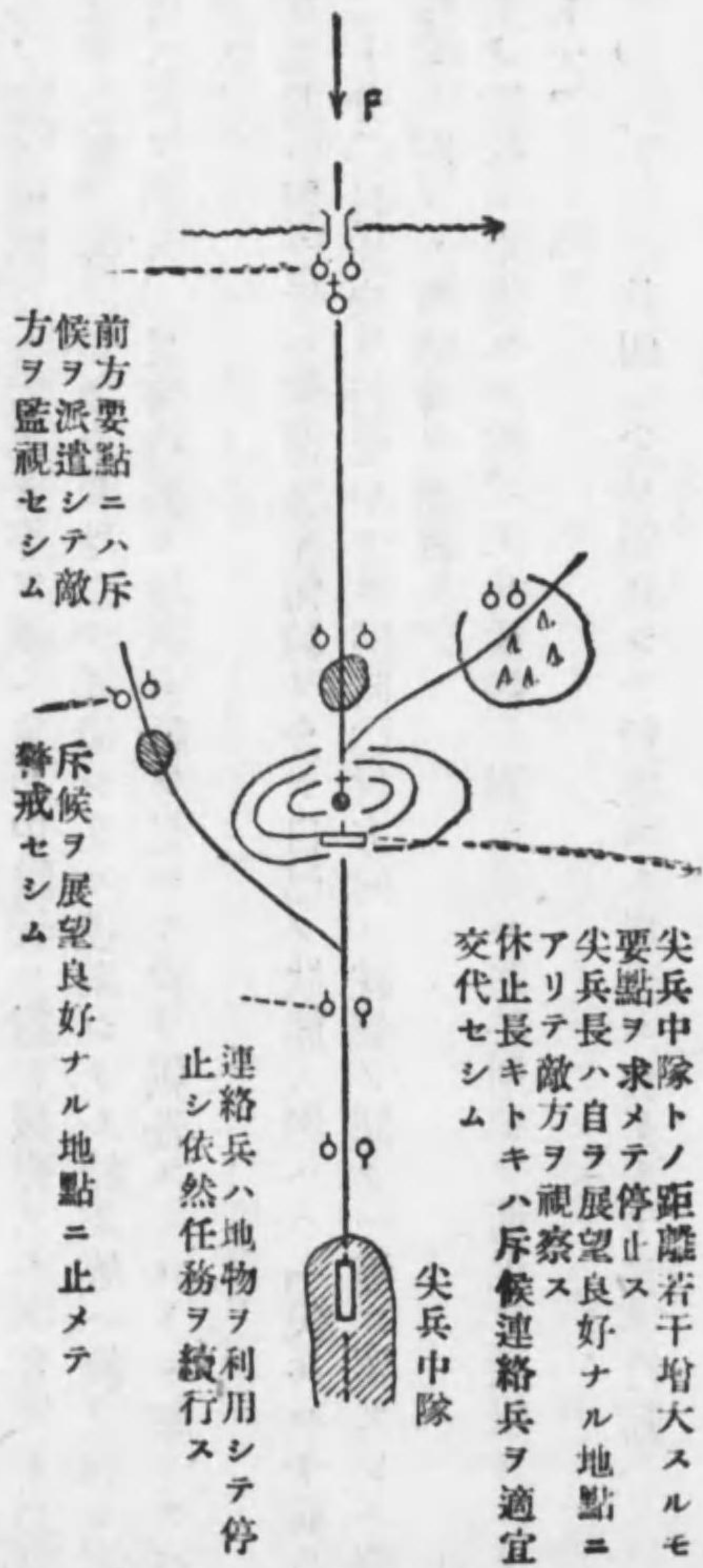
(イ) 敵ニ尙ホ遠ク地形開豁セル場合ニハ、單ナル警戒兵又ハ展望哨ヲ以テ敵方ヲ監視スレバ足ル(第五十九圖參照)

圖九十五第



(ロ) 敵ノ騎兵又ハ歩兵斥候小部隊ニ對シ願慮ヲ要スルトキ(第六十圖參照)

圖十六第



2、行軍ヨリ駐軍ヘノ轉移時  
此場合ニ於ケル尖兵長ノ行動ハ小哨長ノ行動ニ準ズ

六、報告、通報

尖兵中隊長ニ對シテハ通常傳令ヲ派シテ口頭ヲ以テ報告スベキモ、特ニ簡單



ナル事項ハ連絡兵ヲ利用シテ遞傳セシメ、時トシテ約束セル記號ニ依ルコトアリ。

部下斥候ノ報告ハ其傳令又ハ斥候長ヲシテ其儘尖兵中隊長ニ報告セシムルヲ可トスルコト尠カラズ。

尖兵ノ到着地點及搜索部署等ヲ逐一尖兵中隊長ニ對シ報告スルノ要ナキハ勿論ナリト雖、特ニ重要ナル地點ヲ通過シ又ハ搜索シタル結果等ハ機ヲ逸セズ報告スルヲ要ス、又何時某々地區ニ敵ヲ見ザル旨ヲ報告スルコトモ忽ニスベカラズ。

騎兵尖兵ニ對シテハ歸還スル傳騎ヲ介シ自己ノ狀態(例ヘバ「尖兵ハ午前八時二十分〇村中央ヲ行進中ナリ同時〇村方向ニ銃聲ヲ聞ク」等)要スレバ側方搜索ニ關スル希望等ヲ通報ス。

尖兵ノ近傍ニ挺進スル砲、工兵斥候ニ對シテハ適時所要ノ情況ヲ通報スルヲ可トス。

其四 歩兵獨立シテ行進スル場合ニ於ケル尖兵ノ行動

歩兵獨立シテ行進スル場合ニ在リテハ、前方ニ搜索ニ任ズベキ騎兵ナキヲ以テ、歩兵ハ自ラ此勤務ニ服セザルベカラズ、而シテ歩兵ノ搜索シ得ル區域ハ狭小ナルヲ以テ敵ト不意ニ衝突スル慮慮多シ、故ニ此ノ場合ニ於ケル尖兵ハ周密ニ搜索警戒ヲナシ前進スルヲ要ス。

其五 側衛

一、側衛ヲ設クル場合及兵力編組

1、側方警戒ノ爲斥候ノミニテハ十分ナラザルトキハ更ニ側衛ヲ派遣ス。

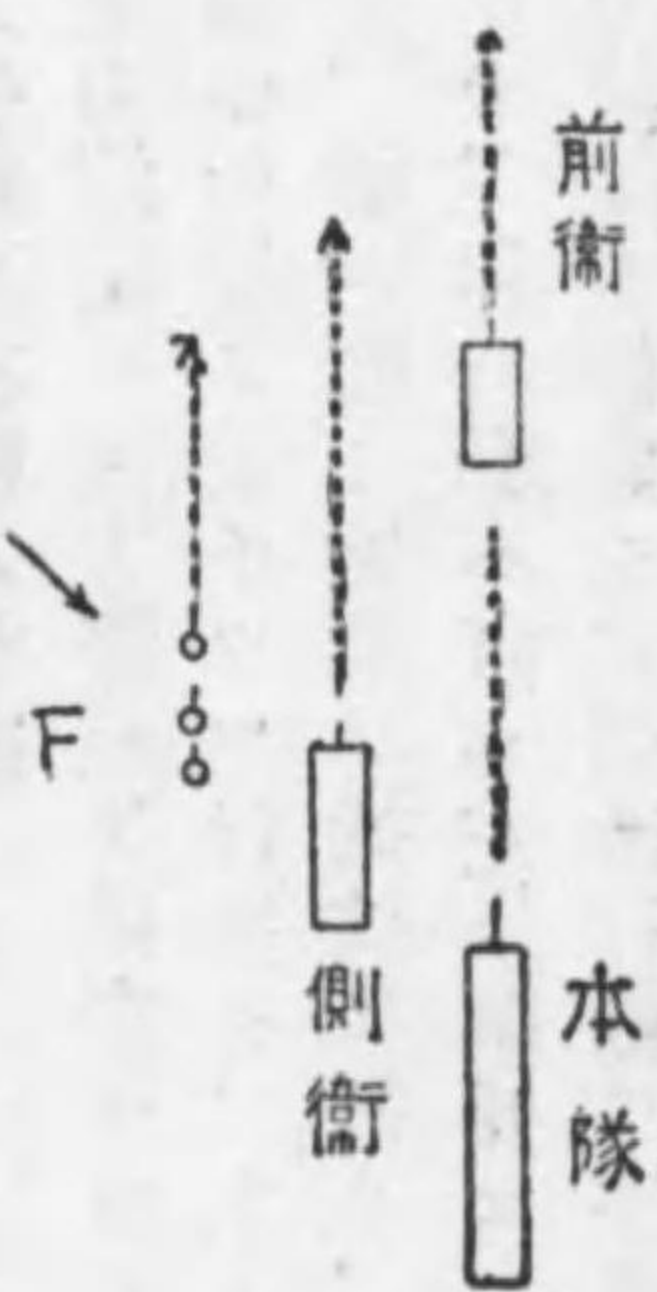
2、側衛ノ兵力、編組ハ危險ノ大小ト地形トニ應ジ之ヲ定ム。

二、側衛ノ任務及行動ノ準據

側衛ハ主力縱隊ノ側方警戒ヲ確實ナラシムル爲、此等部隊ヲ掩護シ得ベキ適當ナル關係位置ヲ保チツツ行進シ、主トシテ正面及側面要スレバ背面ヲモ搜索スル外、機ニ臨ミ所要ノ抵抗ヲ行ヒ、且此等部隊ニ對シ連絡ヲ保持スベキモノニシテ、其行動ハ概ネ左ニ準據スベキモノトス。

1、主力縱隊ト併進シ其側敵行動ヲ掩護ス(併進掩護)(第六十一圖参照)

圖一十六第



- 一、敵ニ遠キトキ。
- 二、敵微弱ナルトキ。
- 三、敵企圖心ニ乏シキトキ。

2、要スレバ主力縦隊行進路ノ側方ニ陣地ヲ占領シ、其通過ヲ安全ナラシム  
(駐止掩護)(第六十二圖參照)

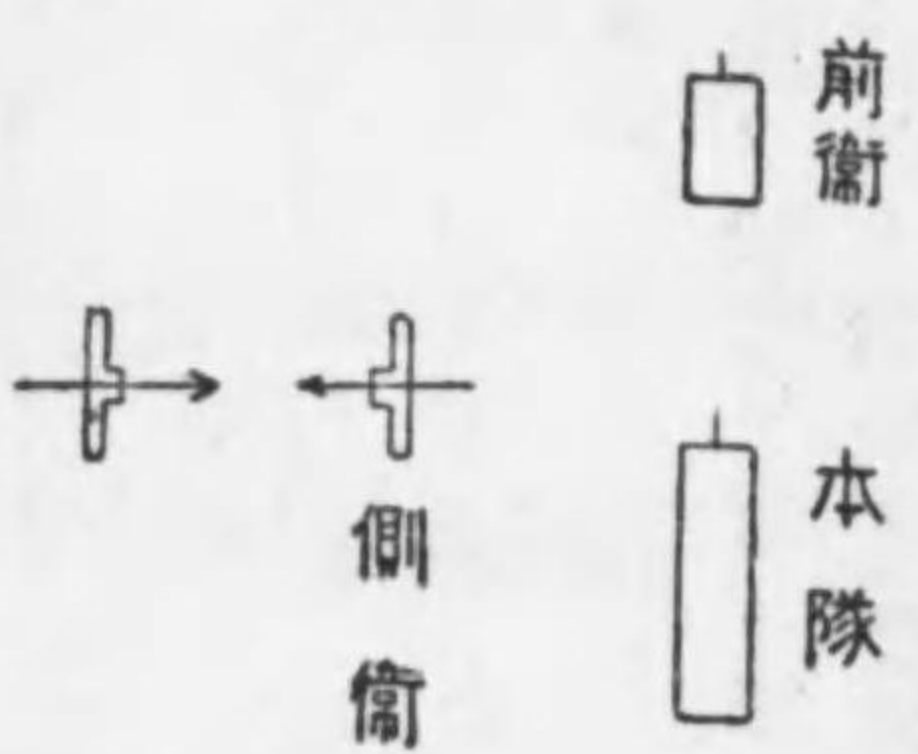
圖二十六第



- 一、有力ナル敵ノ部隊近ク攻撃シ來リ之ニ對シ掩護ノ爲他ニ手段ナキトキ。
- 二、主力縦隊ノ企圖秘匿ノ爲他ニ手段ナキトキ。
- 三、地形防禦ニ有利ナラザルトキ。

3、非常ノ場合ニ於テハ敵ヲ攻撃シテ之ヲ抑留シ、敵ヲシテ我主力縦隊ニ近  
迫スル能ハザラシム(攻撃掩護)(第六十三圖參照)

圖三十六第

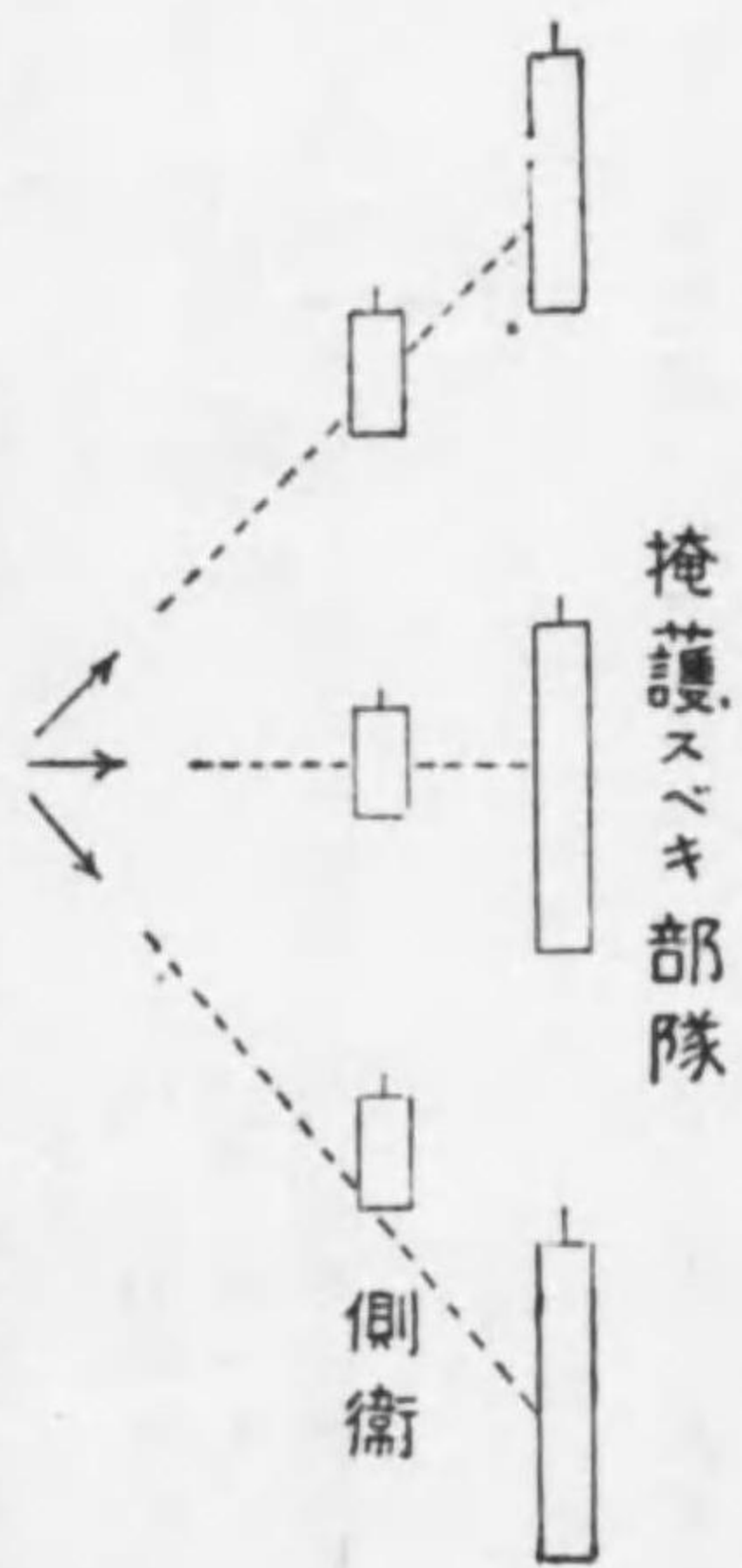


- 一、有力ナル敵ノ部隊近ク攻撃シ來リ之ニ對シ掩護ノ爲他ニ手段ナキトキ。
- 二、主力縦隊ノ企圖秘匿ノ爲他ニ手段ナキトキ。
- 三、地形防禦ニ有利ナラザルトキ。

三、行進及連絡

1、併進掩護ニ於ケル側衛ノ行進位置ハ固ヨリ狀況ニ依リ異ナリト雖、地形ヲ度外視セバ掩護スベキ部隊ト敵トノ中間ニ位置スルヲ要ス(第六十四圖參照)

圖四十六第

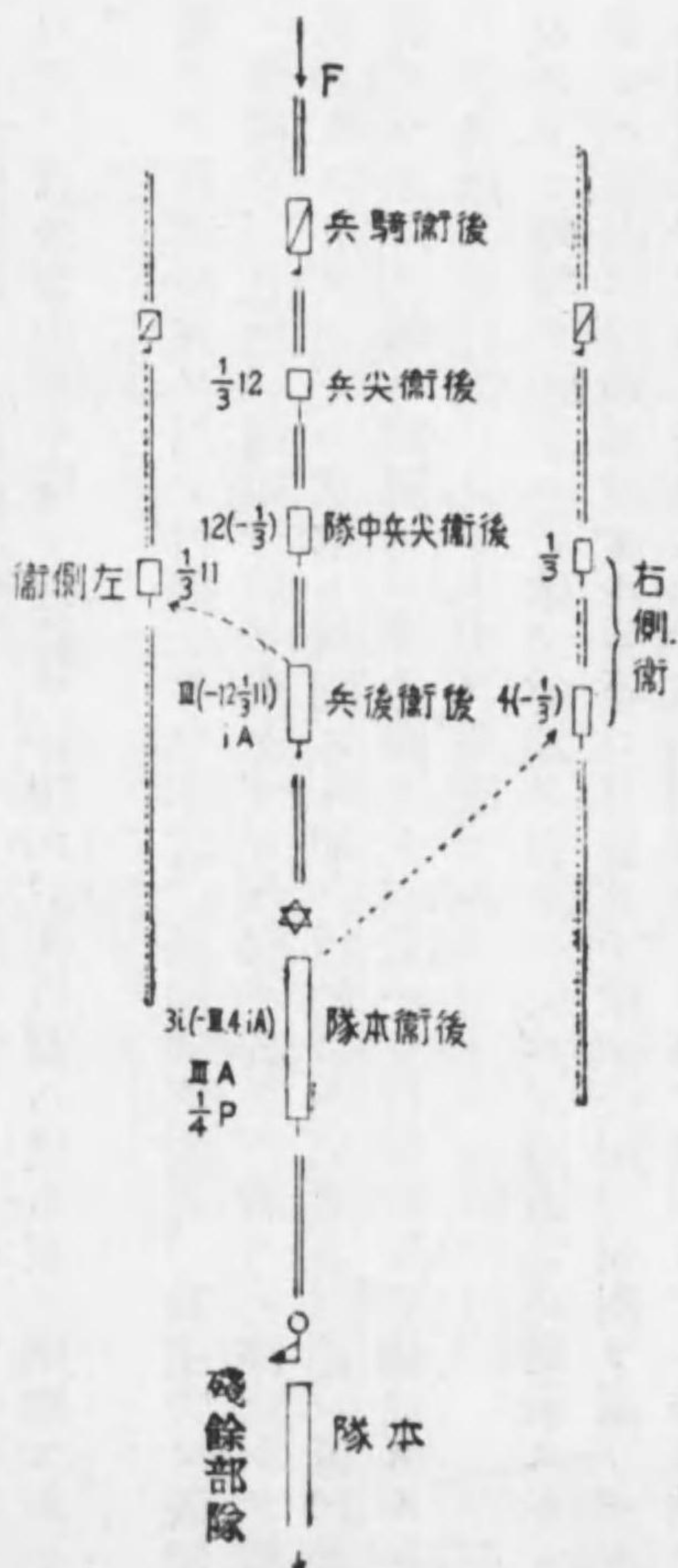


2、側衛ハ本隊ノ状態ヲ常ニ審ニスルト共ニ、側衛ノ情態及敵情ヲ報告セン  
 ガ爲、此等部隊ト連絡ヲ確保セザルベカラズ、其方法ハ尖兵ノ如ク連絡兵  
 ヲ以テ繼續的ニ行フヲ得ザルヲ以テ、地形殊ニ道路網ヲ顧慮シ傳令又ハ展  
 望哨等ヲ使用シテ斷續的ニ實施セザルベカラズ、而シテ側衛ニハ此ノ目的  
 ノ爲、傳騎又ハ自轉車兵ヲ配屬スルヲ有利トス。

3、側衛ノ長ハ搜索計畫ノ外前記連絡計畫ヲ腹案スルヲ要ス。

一、後衛行軍部署ノ一例(第六十五圖參照)  
 其六 後衛尖兵

圖五十六第

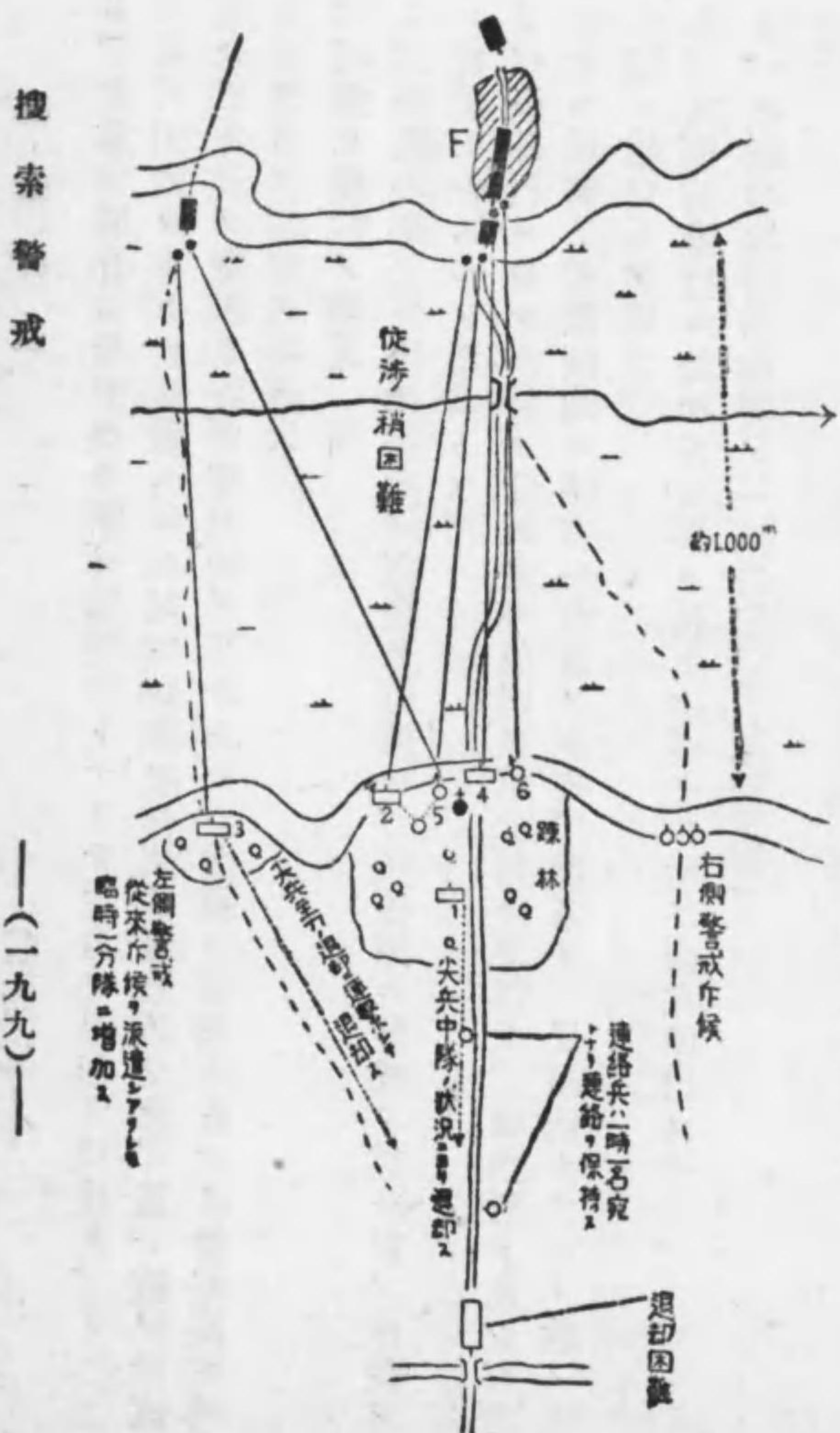


二、後衛尖兵ノ任務及行動ノ準據

後衛尖兵ハ後衛尖兵中隊ノ警戒ヲシテ益々確實ナラシムル爲、其後方ヲ行進シ主トシテ行進路上ノ搜索ニ任ズルモノニシテ搜索ノ外、機ニ臨ミ所要ノ抵抗ヲ行ヒ、且後衛尖兵中隊ト連絡ヲ保持ス、其行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス。

- 1、勉メテ行軍縦隊ヲ以テ行進シツツ本隊ノ退却ヲ掩護ス、我主力ノ退却順調ニ進捗シ、且敵ノ逼迫急追ヲ受ケザル狀況ニ於テハ素リニ停止シテ戦闘ヲ交フルコトナク、一意敵ト離隔スル如ク行動スルヲ要ス、是レ退却戰鬥ニ於テハ速カニ敵ト離隔スルヲ主眼トシ、且一旦行軍縦隊ヲ編成スルニ至ラバ爾後勉メテ行進シツツ主力ヲ掩護スルヲ可トスレバナリ。
- 2、要スレバ陣地ヲ占領シテ敵ノ前進ヲ拒止ス尖兵ガ停止シテ抗戦スルニアラザレバ主力ノ退却困難ナルニ至レバ勉メテ敵ノ迂回、包圍ヲ蒙ラザル地形ヲ利用シ、火力ノ發揚(通常遠キ距離ヨリ射撃ヲ開始ス)ニ依リ敵ヲ正面ニ拒止スルト共ニ有力ナル斥候ヲ以テ側背ヲ警戒シ、且爾後ニ於ケル退却ノ方法ニ關シ豫メ研究シ置クヲ肝要トス(第六十六圖參照)

第六十六圖 後衛尖兵停止シテ敵ヲ拒止スル場合ノ一例



3、非常ノ場合ニ於テハ全隊ノ爲犠牲トナリテ主力ノ退却ヲ掩護ス。  
 2、ノ如クニシテ抗戦スルモ遂ニ優勢ナル敵ノ逼迫ヲ受ケ、且一般ノ狀況未ダ尖兵ノ撤退ヲ許サザルモノアルトキハ全隊ノ爲犠牲トナリテ逆襲ニ轉ジ主力ノ退却ヲ掩護ス。

三、行進及搜索ノ部署

- 1、後衛尖兵長ハ後衛尖兵ノ直後ヲ行進シ、其後方ニ警戒ノ爲一組ノ斥候ヲ行進セシムルヲ通常トス。
- 2、退却行ニ於テハ特ニ迂回若ハ包圍ヲ受ケ易キヲ以テ、前進行ニ比シ有力ナル斥候ヲ稍繼續的ニ側方ニ派遣スル等、搜索ヲ一層周密ナラシメ敵ノ奇襲ニ備フルヲ要ス。
- 3、其他前進行ニ於ケル尖兵ニ就キ述ベタル所ヲ適宜準用スベシ。
- 4、後衛尖兵行進部署ノ一例(第六十七圖參照)

圖七十六第



第三節 小 哨

其一 要 則

一、駐軍間ノ警戒及警戒部隊ノ任務  
 駐軍間ニ於ケル警戒ハ通常前哨ヲ以テス、其任務ハ敵情ヲ搜索シ敵ノ奇襲ニ對シテ休止ノ軍隊ヲ掩護シ、之ニ戦闘準備若ハ出發準備ヲ整フルノ時間ヲ與ヘ、又我軍ノ情況ヲ掩蔽スルニ在リ。

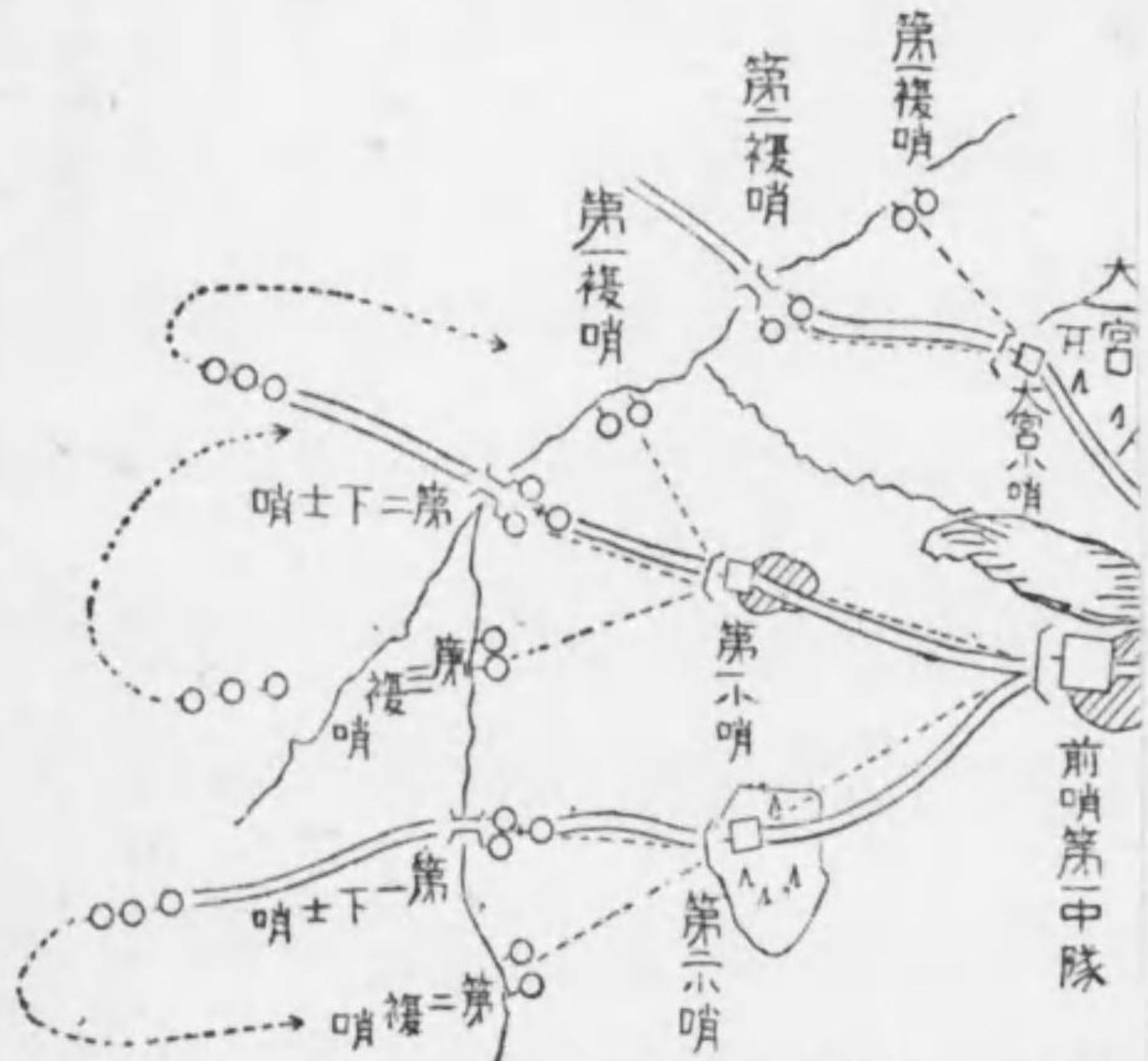
二、前哨ノ任務達成手段

前哨ノ任務ヲ盡ス爲メ取ルベキ手段ハ、情況、特ニ敵ノ遠近ニ應ジ異ナルモノニシテ百般ノ時機ニ常ニ適應スベキ法則ヲ一定シ難シ、故ニ前哨ノ部署、隸屬ノ關係、勤務ノ方法等ハ總テ其時ノ景況ニ從ヒテ定メ、一定ノ模型ニ陥ラザルヲ要ス、而シテ其警戒ハ敵ニ近ヅクニ從ヒ益々之ヲ嚴ニスルヲ要ス、即チ敵軍ト未ダ甚ダシク近接セズ、主トシテ敵ノ騎兵斥候ニ對スル願慮アルニ過ギザル情況ニ於テハ、整然タル警戒線ヲ設クルコトナク單ニ敵方ニ近キ各宿營地毎ニ警戒法ヲ設クルヲ以テ足レリトスルモ、敵軍ニ近接シ敵襲ヲ受クル危険大ナル情況ニ於テハ所要ノ前哨部隊ヲ配置スルヲ要シ、尙ホ敵ニ近接シ、全部ノ戰鬥準備ヲ必要トスル場合ニ於テハ一層警戒ヲ嚴ニシ、遂ニ防禦陣地ヲ占領セザルベカラザルニ至ルガ如キ是ナリ。

三、前哨ノ區分及其任務

前哨ノ區分及其任務ヲ圖示スレバ第六十八圖ノ如シ。

圖 八



歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ前哨中隊(前哨本隊)ノ前方(或ハ側方)要點ニ位置シ警戒ノ爲必要ナル搜索ニ任シ敵襲ニ際シ前哨中隊ヲ戰備ヲ整フノトモ時間ヲ得シムルモ

主要ナル監視線ヲ形成シ速カニ敵襲ヲ告スルヲ任トス

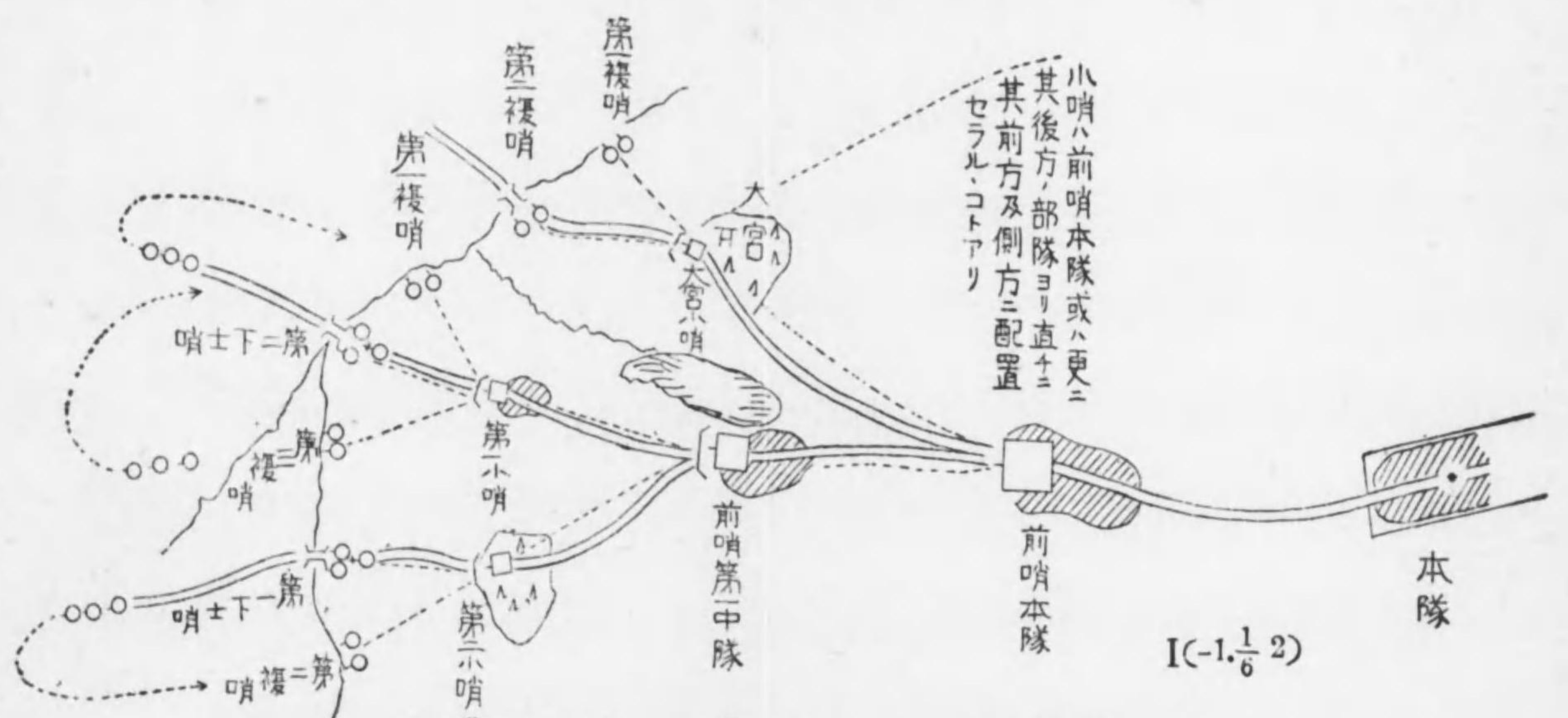
第六十八圖

接シ、全部ノ戦闘準備ヲ必要トスル場合ニ於テハ一層警戒ヲ嚴ニシ、遂ニ防禦陣地ヲ占領セザルベカラザルニ至ルガ如キ是ナリ。

三、前哨ノ區分及其任務

前哨ノ區分及其任務ヲ圖示スレバ第六十八圖ノ如シ。

圖 八 十 六 第



前哨ノ豫備ニシテ敵ノシテ常ニ之ヲ收増スルニシテ必要ナル道ノ近傍ニシテ交通便路ノ地ニ位置スルモノトス

主要ナル抵抗線ヲ形成スルモノニシテ敵ノ侵入ニ拒止スルヲ任ズルモノトス

歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ前哨中隊(前哨本隊)ノ前方(或ハ側方)ニ必要ナル位置ニシテ敵ノ侵入ヲ察知シテ之ヲ報告スルモノトス

主要ナル監視線ヲ形成シテ之ヲ報告スルヲ任ズ

第六十八圖

其二 小哨長ノ勤務

一、小哨ノ兵力編組

- 1、小哨ハ其重要ノ度ニ應ジ將校、又ハ下士官ヲ以テ長ト爲シ小隊以下ノ兵力ヲ用フ。
- 2、小哨ニ輕機關銃ヲ附スベキヤ否ヤハ、一ニ小哨ニ期待スベキ抵抗ノ程度ニ依ルモノニシテ、特ニ重要ナルニアラザレバ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス。然レドモ情況之ヲ要スレバ機關銃、歩兵砲等ヲモ配屬スルコトアリ。

二、小哨ノ配備

歩哨ノ配置宜シキヲ得バ多ク小哨ノ兵力ヲ減セズシテ能ク警戒ヲ嚴ニス。

1、晝間展望良好ナル場合

單ニ展望良好ナル地點ニ展望哨ヲ出シテ監視セシメ、主力ハ抗戰ニ便ナル一地ニ集結シテ警戒スルヲ以テ足レリトスルコトアリ。

2、狀況緩ナル警戒ヲ以テ足レリトスル場合、

必ズシモ一連ノ歩哨線ヲ成形セシムルヲ要セズ、主トシテ敵方ニ通スル道



路並重要ナル地點ニ步哨ヲ配置スベシ而シテ其間ノ空隙ハ所要ニ從ヒ斥候巡察ヲ派遣シテ之ヲ警戒セシム。

3、狀況嚴ナル警戒ヲ要スル場合

步哨ハ互ニ相接シテ配置シ以テ一人モ步哨ノ眼ヲ逃レ、或ハ其射撃ヲ受クルコトナク步哨線ヲ通過スルヲ得ザラシムベシ、之が爲夜間又ハ濃霧ノ際ハ更ニ近ク步哨ヲ相接セシムルヲ要ス。

4、如何ナル場合ニ於テモ警戒ハ搜索ト抵抗ト併セ行ヒテ始メテ完キヲ得ルモノナルコトニ留意スルヲ要ス

三、小哨長ノ責務

小哨長ハ夜襲ニ際シテ常ニ必ズ小哨ノ戰備ヲ缺カザルヲ以テ責任トナスベシ

其三 小哨長動作ノ手順

小哨長ノ動作ハ時ノ狀況ニ依リ其要領ヲ異ニスルモ要ハ死節時ヲ減小シ速カニ警戒網ヲ完成スルニ在リ蓋シ駐軍間ノ警戒ニ移ルハ多クハ日没直前ニシテ而モ其動作ハ多岐繁多ナルヲ以テナリ。

今其動作ノ一例ヲ概ネ手順ヲ追ヒツツ記述スレバ左ノ如シ。

一、任務受領ヨリ出發マデノ處置

1、任務ノ了解

中隊長ヨリ任務受領ノ際小哨ノ位置、警戒線ノ兩端、比隣小哨警戒線ノ端末及之トノ連絡法等ヲ圖上ニ記入シ誤解ナキヲ期ス。

2、腹案ノ報告及通報

圖上ニ於テ步哨配置ノ腹案ヲ立テ、之ヲ中隊長ニ報告スルト共ニ、隣接小哨長ト其場ニ於テ協定ス、若此際協定シ難キトキハ、優秀ナル兵又ハ下士官ヲ最初ヨリ隣接小哨ニ派遣シ、某期間ヲ通ジ連絡ニ任ゼシメ所要ノ事項ヲ速カニ報告セシム。

3、出發準備

(イ) 時計ノ規正

(ロ) 報告材料、照明材料等ヲ準備ス

二、任務ニ就ク動作

1、斥候ノ派遣

部下ニ簡單ニ一般ノ情況及小哨ノ任勢ヲ下達シ速カニ左ノ諸斥候ヲ派遣ス  
(イ) 歩哨配置間ノ警戒斥候

歩哨配置間歩哨線前ノ要點ニ派遣シテ敵襲及斥候潜入ニ對シ監視警戒セ  
シム。

此ノ斥候ヲ派遣スベキ距離ハ概定シ得ザルモ、千乃至二千米ヲ可トス。

(ロ) 敵情地形ノ搜索斥候

小哨ノ任務達成上速カニ偵知スルヲ要スル方面ノ敵情及地形(小流、地  
隙、濕地水田等ノ障碍程度)ノ搜索ニ任ズルモノニシテ特ニ日没前ニ於  
テハ歩哨線前ノ地形ヲ知ラシムルノ好機ナルヲ以テ將來斥候長要員タル  
ベキモノヲ充當シ又勉メテ速カニ派遣スルノ注意ヲ必要トス。

2、出發ニ際シ小哨長ノ下達スベキ命令ノ一例

一、敵ハ此ノ方向約五里森脇村附近ニ達シアリ、中隊ハ前哨トナリ此ノ附  
近ニ位置ス。

二、小隊ハ此ノ前方松村附近ニ位置シ第一小哨トナル。

三、某伍長ハ兵何名ヲ率ヒテ斥候トナリ松崎附近ニ位置シ森脇方向ニ對シ  
警戒スベシ、歸還ノ時期ハ後命ス。

四、某軍曹ハ某上等兵以下何名ヲ率ヒ斥候トナリ丸山、石橋附近ノ敵狀及  
地形ヲ偵察スベシ。

五、某軍曹ハ小隊ヲ引率シテ松村西端ニ至ルベシ。

六、予ハ松村西端ニ先行ス。

3、小哨長ノ先行

小哨長ハ所要ノ傳令要スレバ斥候若干組及豫定ノ下士哨長、歩哨掛等ヲ伴  
ヒ警戒シツツ小哨豫定位置ニ先行ス。

4、行軍中小哨長ヲ命ゼラレ、最モ迅速ナル行動ヲ要スルガ如キ場合ニ在リ  
テハ、前記中重要ナル事項ノミヲ行進中ニ處理シ速カニ任地ニ至リ所要ノ  
配置ヲナシ得ル如クスルヲ要ス。

三、任地到着後ノ處置

1、小哨ノ位置

全般ノ地形ヲ達觀シ小哨ノ位置ヲ決定シ傳令一名ヲ殘置シテ小隊到着セバ其停止位置ヲ知ラシム。

小哨ノ位置決定ニ方リテハ、左記事項ヲ顧慮スルヲ要ス。

(イ)、敵ニ遮蔽シアルコト。

(ロ)、敵ニ通ズル道路上又ハ之ニ近キコト。

(ハ)、ナルベク歩哨線ノ中央後ニシテ抗戰ニ適スル地點ノ後方ナルコト。

(ニ)、後方部隊トノ交通便利ナルコト。

(ホ)、休宿ニ適スルコト。

2、歩哨ノ位置決定

(イ)、展望良好ナル地點ヨリ、地圖ト現地トヲ對照シテ歩哨ノ位置、數、種類及小哨ノ抵抗線ヲ決定ス。

地形遮蔽シテ展望ヲ許サザルトキハ自ら重要ナル地點ヲ踏査シ然ラザル地點ハ適宜斥候ヲ派遣シテ偵察ヲ補助セシム。

(ロ)、歩哨ノ位置決定ニ方リテハ左記事項ヲ顧慮スルヲ要ス。

a、身體ヲ遮蔽シ且展望ニ便ナル地點

b、隘路口、橋梁等通路ノ要點

c、地形上敵ノ近接容易ナル地點

d、複哨ノ位置ハ其小哨ヲ距ルコト約四百米ヲ超ヘシメザルヲ通常トス

(ハ)、歩哨線中特ニ重要ナルカ或ハ交代不便ナル地點ニハ下士哨ヲ配置ス

3、歩哨ノ配置ヲ決定セバ同伴セル歩哨掛及下士哨長ニ其腹案ヲ示ス

4、小隊到着セバ全般ニ對シ現地ヲ指示シ(見ヘザレバ方向ト距離)ツツ命令ヲ下シ歩哨ノ位置ニ就カシム、但此際敵ノ潛入斥候ニ對シ直接警戒ノ處置ヲ講ズルコト必要ナリ。

5、歩哨ノ配置法

(イ)、一般ノ場合(光線法)

通常一哨所ニ屬スル兵(交代兵共)ヲ歩哨掛又ハ下士哨長ニ引率セシメ小哨ノ位置ヨリ各々速カニ豫メ指示シタル地點ニ到ラシメ小哨長ハ逐次

各哨所ノ位置ニ到リ歩哨掛又ハ下士哨長ニ守則ヲ授ケ且兵ニモ聞カシムルモノトス。

(ロ) 特別ノ場合(道線法)

地形、天候、時刻等ノ爲歩哨ヲ配置スベキ位置ノ指示困難ナルトキ(例ヘバ地形蔭蔽錯雜スルカ又ハ夜間、濃霧等ノ爲錯誤ヲ生ジ易キトキノ如シ)又ハ歩哨ノ數及位置ヲ初メヨリ概定シ能ハザルトキ(例ヘバ地圖ニヨリ配置ヲ決定シ難キトキノ如シ)ハ豫想セル人員ヲ率キ必要ナル方面ヨリ逐次之ヲ配置ス、此ノ方法ハ暫時歩哨ヲ配置シ得ザル地區ヲ生ズルヲ以テ此ノ間該方面ハ斥候ヲシテ搜索セシム。

(ハ) 歩哨ノ配置及交代ノ際其位置ヲ敵ニ察知セラレザルコトニ就テハ特別ノ注意ヲ肝要トス。

6、歩哨配置ノ爲ノ命令ノ一例(小哨配置要圖参照)

一、敵情ニ關シ新報ヲ得ズ。

二、小隊ハ現在地ニ位置シテ第一小哨トナリ斜右ノ森ヨリ斜左ノ無名祠ニ

亙ル間ヲ警戒セントス。

某斥候ハ丸山、石橋附近ニ前進シ敵情搜索中ニシテ某斥候ハ松崎附近ニ在リテ歩哨配置ヲ警戒シツツアリ。

第二小哨ハ左ノ○○附近ニ位置シ○○方向ニ對シ警戒シアリ。

三、某上等兵ハ第一分隊ノ兵六名ヲ率キ、アノ森ノ西端ニ到リ十軒家方向ニ對シ警戒スベシ。

四、某伍長ハ兵六名ヲ率キ一軒家ニ到リ石橋方向ニ對シ警戒スベシ。

五、某上等兵ハ第三分隊ノ兵六名ヲ率キ、アノ無名祠ニ到リ西村方向ニ對シ警戒スベシ。

六、小哨長ハ特別守則授與ノ爲逐次右ヨリ左方ニ至ル。

7、小哨長特別守則附與ノ爲出發

小哨長ハ小哨ニ於テ勤務スベキ先任分隊長及其ノ他下士官(若ハ上等兵)ニ概ネ左ノ處置ヲ命ジ傳令(巡察長ヲモ同伴ス)ヲ隨ヘ歩哨ニ特別守則ヲ授クル爲出發ス。

小哨ノ位置直接警戒ノ歩哨又ハ展望哨ヲ配置ス（銃前哨ハ歩哨配置後小哨又銃ニ方リ設置スベキモノトス）  
抵抗線ノ位置ヲ示シテ工事ヲ實施セシメ障碍物、夜間射撃ノ設備、照明等ノ諸設備ヲナサシム。  
但シ敵方ニ暴露スル恐アルトキハ以上ノ工事及設備ハ準備ニ留メ日没後實施セシムルヲ可トス。  
附近ノ地形、井水ヲ偵察セシム。  
隣小哨ト連絡（既ニ協定済ミノ場合ニ於テモ現地ニ就キ速カニ實施スルヲ可トス）

報告用素圖ノ調製

先任分隊長ニ小哨長不在中ノ代理ヲ命ズ。

8、特別守則ノ授與

重要ナル方面若ハ一翼ヨリ守則ヲ授ケ速ニ完了ヲ圖ル  
特別守則授與ノ爲巡視中附近ノ地形ヲ視察ス

歩哨ハ各小哨毎ニ複哨ト下士哨ヲ通ジ、右翼ヨリ順序ニ番號ヲ附スルモノトス。

特別守則トシテ示スベキ事項及其順序概ネ次ノ如シ。（小哨配置要圖參照）

- 一、其歩哨ノ番號（此歩哨ハ第一小哨ノ第一複哨）
- 二、敵情（敵ハ此ノ方向約五里森脇村附近ニ在リ其斥候ハアノ村ニ出沒ス）
- 三、前方ニ在ル我部隊及斥候ノ狀況（某斥候ハ……某斥候ハ……）
- 四、必要ナル道路、村落等ノ名稱（此ノ道路ハ敵ニ通ズル重ナル道路、アノ山ハ丸山、アノ村ハ十軒家、アノ五六本アル松林ハバラバラ松）  
（記憶ニ便スル爲固有名詞ニ代フルニ適宜ノ名稱ヲ以テスルコトアリ）
- 五、特ニ監視スベキ要地（特ニ監視スベキ要地ハ此ノ道路ニ沿フ地區及十軒家）

六、隣歩哨ノ位置。番號及之トノ連絡（右ニハ友軍ノ歩哨ハナイ左ニハアノ一軒家ニ第二下士哨ガアル、夫レトノ連絡ハ晝間眼ヲ以テシ、夜ハ歩哨交代ノ直後ニ此ノ森ニ沿フテ下士哨ニ行キ連絡ヲ取ル下士哨ヨリモ概

ネ一時間毎ニ連絡ニ來ル)

- 七、小哨並中隊ノ位置及此等各位置ニ通ズル徑路(小哨ノ位置ハアノ森、前哨中隊ノ位置ハ其後方約五百米某村西端ニ在リ夫レニ行ク道ハ此道)
  - 八、敵襲ニ際シテ取ルベキ處置(敵襲ニ際シテハ警報後一名ハ速ニ小哨ニ急報シ他ノ者ハナルベク長ク抵抗シ已ムヲ得ザルニ至ラバ、敵ヲアノ森ノ方向ニ引キ付ケル様ニ行動シ、次デ一本松ノ方向カラ小哨ノ右ノ方ニ歸レ)
  - 九、其他特ニ注意スベキ事項(地區、地物ニ應ジ歩哨ノ行動上注意スベキ事項、歩哨ノ人員ニ應ジ如何ニ監視スベキカ、天候、季節及地物ニ鑑ミ特ニ監視上注意スベキ事項歩哨ノ交代法等)
- 時トシテ前地ノ地名ヲ明記セル要圖、又ハ寫景圖ヲ附與シテ特別守則ヲ補足スルヲ有利トスルコトアリ。
- 9、特別守則ハ勤務間情報ヲ得ル毎ニ之ヲ補修スルヲ要ス
- 特別守則ノ附與終ラバ成ルベク速カニ小哨位置ニ歸還ス。

#### 四、小哨位置ニ歸還後ノ處置

- 1、傳令報告  
取り敢ズ前哨中隊長ニ傳令ヲ以テ口頭ニ依リ小哨配置終了ノ報告ヲナス
- 2、銃前哨ノ配置
  - (イ) 従前ノ直接警戒ニ代フルニ銃前哨ヲ以テシ之ニ守則ヲ授ク。
  - (ロ) 銃前哨ニ與フル守則ノ一例(小哨配置要圖參照)
  - 一、銃前哨ノ名稱(此歩哨ハ第一小哨ノ銃前哨)
  - 二、敵情(敵ハ此方向森脇村附近ニ在リ)
  - 三、我歩哨ノ位置(此ノ右ノ道路上約三百米ノ所ニ第一複哨、此本道上約五百米ノ所ニ第二下士哨、此左ノ道路上約四百米ノ所ニ第三複哨ガアル)
  - 四、比隣小哨ノ位置(斜左アノ森ニ第二小哨ガアル)
  - 五、前哨中隊ノ位置及經路(前哨中隊ハ此本道上約五百米某村西端ニアル)

- 六、小哨長ノ位置(小哨長ハアノ木ノ下ニアリ)
- (ハ)、小哨掩蔽下ニ在ルトキハ銃前哨ヲ複哨トシ其一人ハ絶ヘズ小哨ノ近傍ヲ行動シテ警戒セシムルカ或ハ單哨ヲ數箇所ニ配置ス。
- 3、斥候ノ派遣  
敵狀搜索ノ爲斥候ヲ派遣ス此斥候ハ、歩哨配置間ノ警戒斥候ニ連絡シ歸還ヲ傳達セシム。
- 4、出發ニ際シ先任分隊長ニ命ジ置キタル事項ヲ點檢補修ス。
- 5、又銃  
爾後ニ於ケル搜索計畫ヲ立案シ斥候、巡察其他ノ勤務員ヲ區分シ各區分毎ニ又銃シ又ハ銃架ニ托セシム。  
又銃又ハ銃架ノ區分ノ一例  
(イ) 第一、第三複哨及銃前哨ノ交代兵ヲ第一次、第二次、第三次ニ分ケ同時ニ交代スル者ヲ一組トシテ各組毎ニ又銃又ハ銃架ニ托セシム。  
(ロ) 斥候、巡察要員ハ各組毎ニ、輕機關銃分隊ハ彈藥手毎ニ其他ノ勤務員ハ

6、要圖報告及通報  
其區分ニ從ヒ又銃又ハ銃架ニ託セシム。

中隊長ニ要圖ヲ以テ配備其他ヲ報告シ且隣小哨ニ通報ス。

(イ)、報告ニ記載スベキ事項概ネ次ノ如シ

- a、敵情
- b、歩哨配置及其終リタル時刻
- c、小哨ノ位置及抵抗線其他工事ノ大要
- d、搜索ノ部署
- e、隣小哨トノ連絡
- f、附近ノ地形
- g、小哨ノ人員
- (ロ)、隣小哨ニ連絡ノ爲通報スベキ事項
- a、敵情
- b、小哨ノ位置及隣小哨ニ近キ我歩哨ノ位置種類及連絡ノ方法。

7、抗戰準備

抗戰ノ爲工事ヲナスベキヤ、其程度ヲ如何ニスベキヤハ敵情、地形及占位  
スル時間等ニ依リ異リト雖モ一般ニ敵襲ノ恐アルトキハ、時間ノ許ス限り  
充分ナル設備ヲナスヲ要ス。

(イ)、散兵壕

必ズシモ一連不斷トナスヲ要セズ最モ敵襲ノ恐レアル方面ニ對シテ射撃  
ヲ集中シ得ル如クス。

抵抗線ニ於ケル工事夜間射撃ノ設備ヲ主眼トシテ實施スルヲ要ス

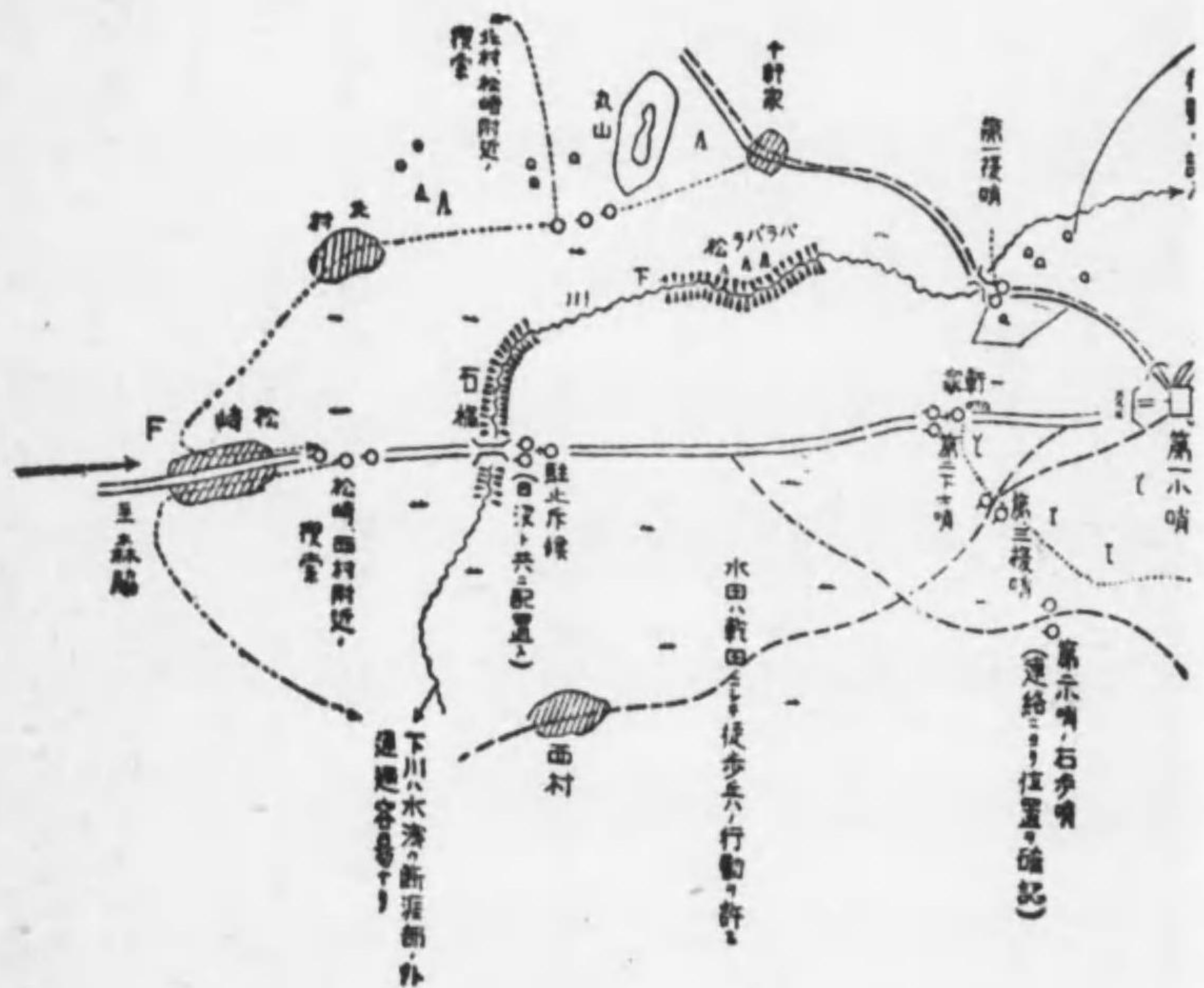
敵ニ對シ秘匿セントスルトキハ、晝間ハ經始ニ止メ工事ハ日没ニ至リ始  
ムルヲ可トス。

(ロ)、障碍物

ナシ得レバ簡單ナル障碍物ヲ設置ス之ガ爲作物、雜草、樹木等ヲ利用シ  
テ纏結シ、或ハ荷車、梯子等ヲ道路上ニ梯次ニ配置シ又ハ鐵線ヲ張ル等

松村附近第一小哨配置要圖

四月四日午後六時半ニ於ケル



小哨配置要圖



ナシ得レバ簡單ナル障礙物ヲ設置ス之ガ爲作物、雜草、樹木等ヲ利用シ  
 テ纏結シ、或ハ荷車、梯子等ヲ道路上ニ梯次ニ配置シ又ハ鐵線ヲ張ル等

小哨配置報告例

發	四月四日午後六時四十分	地信發	於松村西端
着	月 日 午 時 分	者信發	第一小哨長 某 少 尉
者信受	前哨第一中隊長 殿	者信發	第一小哨長 某 少 尉
第一號 第一小哨報告			
一、松崎附近ニ時々銃聲ヲ聞クモ未ダ確報ヲ得ズ			
二、小哨ハ午後六時裏面要圖ノ如ク配置ヲ終ル			
三、小哨ノ人員			
將校一、下士官六、兵 六〇（内喇叭兵一ヲ含ム）			
（小銃四分隊、輕機關銃二分隊）			

(裏面要圖)



圖要置配哨小一第近附村松  
 ルケ於ニ半時六後午日四月四

小哨配置要圖

臨機ノ處置ヲ講ズ。

(ハ)、敵ノ前進ヲ察知スル設備

敵ノ近接スベキ至近ノ地點ニ敵方ニ秘シタル火光ヲ設ケ、或ハ鳴子ヲ仕懸ケ空罐ヲ撒布スル等ノ處置ヲ講ジ敵ノ近接ヲ察知ス。

(ニ) 照明設備

敵ト觸接ヲ保持スル斥候又ハ潜伏斥候ニ照明彈或ハ簡單ナル燃燒物ヲ携行セシメ敵襲ニ際シ之ヲ照明セシムル如ク準備ス。

8. 抗戰豫習

小哨ノ工事終ラバ小哨ノ全員ヲシテ之ニ據ル豫習ヲナシ以テ暗夜ト雖モ靜肅迅速ニ抗戰ノ姿勢ニ就キ得ル如クスルヲ要ス。

五、其後ノ勤務

1、終夜ニ亘ル搜索計畫

前哨ハ其任務ヲ達成スル爲、常ニ搜索ヲ周密ニシ、情況ヲ明カニスルヲ要ス、而シテ敵ニ近キ場合ニハ、夜間ト雖之ト接觸ヲ失ハザルコト肝要ナリ

搜索警戒

小哨長ハ斥候及巡察ヲ併用シテ絶ヘズ搜索ヲ實施シ、步哨ヲ以テスル監視ノ不備ヲ補ヒ、以テ奇襲ヲ豫防スルト共ニ進ンデ敵ノ企圖ヲ察知セザルベカラズ。

特ニ搜索ヲ要スル地點ニ對シテハ常ニ此ノ方面ニ於テ、斥候ノ進路ヲ交叉セシムル如クシ、要スレバ此ノ方面ノ要地ニ駐止斥候又ハ潜伏斥候ヲ派遣ス。

2、戦備ノ度

(イ)、前哨勤務ハ多クハ長途ノ行軍又ハ戦鬪後ニ於テ服スベキモノナリ從ツテ全夜ノ勤務中疲勞ノ爲不識ノ間警戒ノ嚴肅ヲ缺キ、不覺ヲ招ク恐レナシトセズ故ニ小哨長ハ常ニ精神ヲ緊張シ徹宵警戒ヲ嚴ニシ率先其任ヲ全ウスルコトニ努メザルベカラズ。

(ロ)、小哨ニ於ケル休憩ハ多クハ又銃ノ附近ニ腰ヲ卸シ、單ニ休憩スルニ過ギザルモノトス、是レ小哨ハ常ニ最前線ニ在リテ、戦備ヲ整ヘ應急準備ヲナシアルヲ要スルヲ以テナリ、然レドモ一面ニ於テハ疲勞ヲ恢復シ英

氣ヲ養ヒアルヲ要スルヲ以テ、小哨長ハ中隊長ヨリ示サレタル戦備ノ度ニ隨ヒ背囊ヲ卸スベキヤ、焚火ヲ許スベキヤ、一部ニ假眠ヲ許スベキヤヲ決定シ、又勤務ハ勉メテ平均ニ課シ、休憩ヲ平等ナラシムルコトニ注意スルヲ要ス。

(ハ)、夜間小哨ハ睡眠セザルヲ本則トスルモ命ニ依リ、其一部ニ假眠ヲ許スコトアリ、此ノ場合ニハ假眠ノ位置ヲ指定シ然ラザル者ト判然區別シ混同セザル如クスルヲ要ス。

(ニ)、任務ノ爲或ハ許可ヲ得ルニアラザレバ一人ト雖モ小哨ヲ離レシムベカラズ。

3、小哨長ノ巡視

小哨長ハ天光ノ許ス限リ附近ノ地形ヲ巡視偵察シ、又要スレバ步哨線ニ至リ守則其他ヲ補修訂正ス。

小哨長ハ晝間屢々警戒區域内ヲ巡視シテ地形ヲ認識スルヲ要スルモ、夜間ハ其位置ニ在ルヲ要ス

小哨長其位置ヲ離ルルニハ必ズ代理者ヲ命ジ、之ニ自ラノ行動豫定ヲ示シ  
常ニ其所在ヲ明ナラシムルト共ニ、不在中萬一ノ場合ニ善處シ得ル如ク意  
圖ヲ示シ置クヲ要ス

4、配置變更

前哨ノ配置ハ晝夜ニ依リ其利害ヲ異ニスルコトアルヲ以テ適宜之ヲ變更ス  
ルノ著意アルヲ要ス、又敵ノ爲其配備ヲ偵知セラレタルノ疑アルトキ要ス  
レバ速カニ之ヲ變更スルモノトス。

5、戦闘

凡テ前哨勤務ニ服スル部隊ハ安ニ自ラ戦闘ヲ求ムベカラズ、是レ無益ノ小  
鬪ハ全隊ノ安靜ヲ妨害シ且時トシテ遂ニ前哨ノ抗拒シ得ザル大戦ヲ惹起ス  
ルニ至ルノ虞アルヲ以テナリ

6、歩哨線通過者ニ對スル處置

小哨長ハ歩哨線ヨリ報告シ來レル者ニシテ、我軍ニ屬スルコト判然疑ナシ  
ト認定スレバ、歩哨線ノ通過ヲ許シ然ラザル者ハ所要ノ護衛兵ヲ附シ、直

チニ之ヲ前哨中隊ニ送附スベシ、我軍ニ屬スル間諜モ亦然リ、而シテ護衛  
兵ハ決シテ是等ノ者ト談話スベカラズ。

歩哨ヨリ軍使來リシコトヲ報告セシトキハ小哨長ハ之ヲ前哨中隊長ニ報告  
スベシ。

昭和八年十月五日印刷  
昭和八年十月十五日發行

學校教練必携 後編(術科之部)  
定價金 四拾錢

編纂者 陸軍省 徵募課

東京市牛込區原町三丁目八番地

發行者 帝國在鄉軍人會本部  
右代表者 小原 正忠

東京市牛込區原町三丁目八番地

印刷者 橫山 才四郎

東京市牛込區原町三丁目八番地

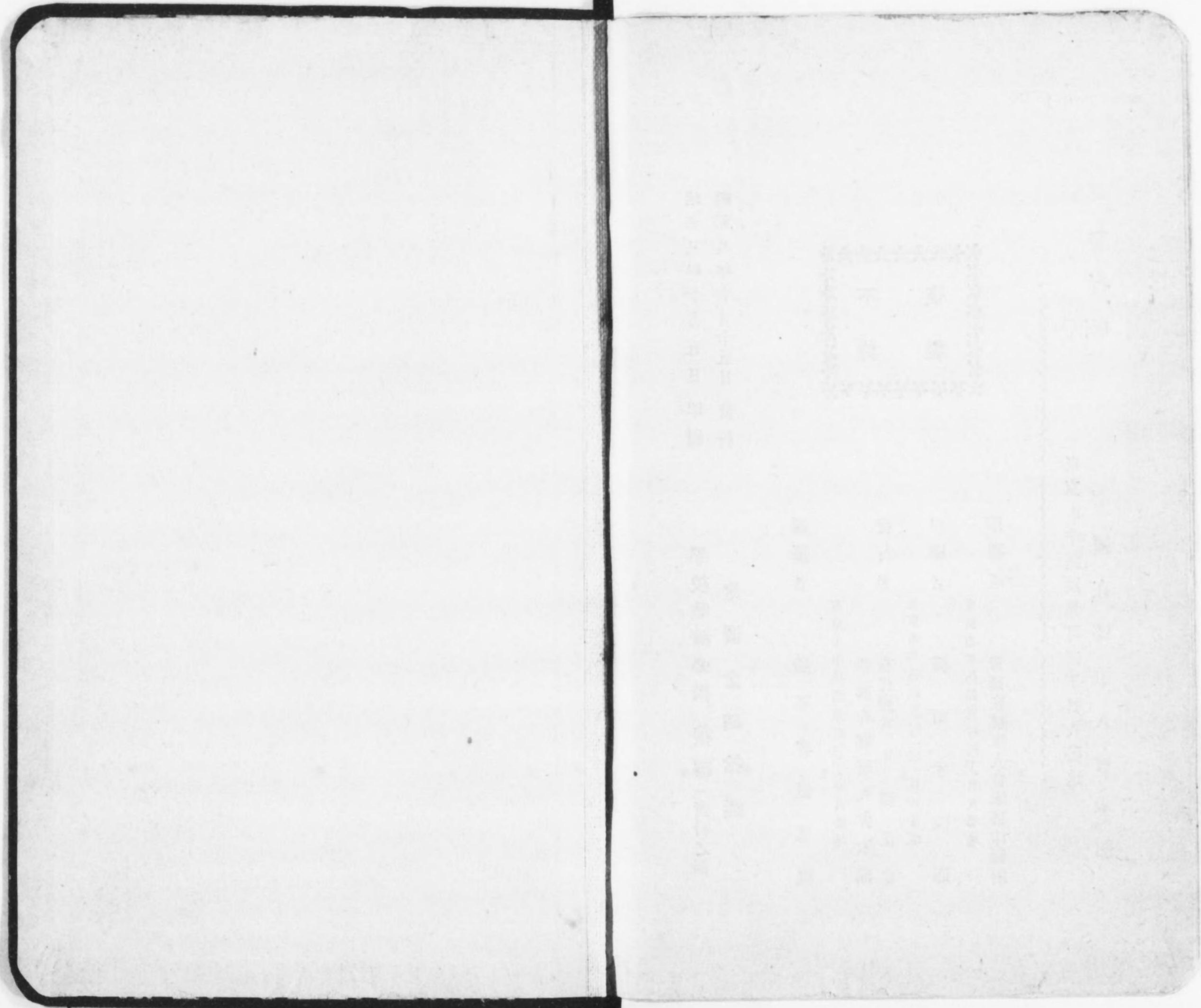
印刷所 帝國在鄉軍人會本部印刷所



發行所

東京市牛込區原町三丁目八番地

帝國在鄉軍人會本部



終